

Urban Safari

[アーバン サファリ]

日之出出版

Nov.2024 Vol.45

Cover Story

セバスチャン・スタン

Your Signature Timepiece
こだわりと偏愛の新作時計。



精度の物語

今年のホリデーシーズンは、オメガ「スピードマスター 38」が織りなす物語の世界へ。このステンレススティール製のクロノグラフは、コアクシャルキャリバー 3330 を搭載した究極のタイムピースだ。新次元の精度が腕元を飾るとき、かけがえない時間が輝き始める。時間を買うことはできない。しかし、卓越した精度が刻む至高の時間を贈ることはできる。

Ω
OMEGA



Cartier





LONGINES SPIRIT
ZULU TIME

Elegance is an attitude
LONGINES


Contents

- 08 COVER STORY セバスチャン・スタン
 10 In Your CLOSET
 14 心ときめく新作時計。
 23 Distinguished Winter Pool HEAVENS
 26 It's a New Watch Lovers Paradise
 28 ホリデーシーズンは贅沢アイテムでパートナーも自分も幸せに。
 33 Gastronomic City Hanoi
 36 リーダーにふさわしい一級品のタキシード
 44 Urban GOLF STYLE
 47 ACTIVE WELLNESS

Sergio Herman

セルジオ・ハーマン/シェフ セルジオ・ハーマン・グループ創設者

写真=吉澤健太 文=山口幸一

photo : Kenta Yoshizawa text : Koichi Yamaguchi

料理とは人々を幸せにする体験を生み出すこと。

昨年末、ホテル虎ノ門ヒルズに開業した〈ル・プリスティン東京〉。その監修を手掛けるのが、オランダ出身のスターシェフ、セルジオ・ハーマンだ。彼がベルギー・アントワープで展開する本店は開業初年度にミシュラン1つ星を獲得。その2号店として、待望のアジア初進出を果たした。「私たちが提供するのとは“NEW ITALIAN”と呼ぶオリジナルスタイルの料理です。故郷ゼーラント地方の食材や伝統に敬意を払いながらイタリア料理に昇華させた、全く新しい美味しさを生み出しています。たとえばゼーラントのムール貝とイタリアのンドウイヤを組み合わせたシグネチャーメニューの自家製オレキエッタは、その代表例といえるでしょう」

そう語る彼がシェフとして特にこだわるのが、食事以上の体験をゲストに提供することだ。食はもちろんのこと、空間を彩るファッション、デザイン、アート、音

楽といったエレメントを巧みに組み合わせ、五感に訴える体験を創り出すという。「私の情熱は、料理への深い愛情と、品質や創造性への強いこだわりから生まれています。私にとって料理は単に食べ物を作るのではなく、人々を幸せにする体験を生み出すことなのです」

〈ル・プリスティン東京〉開業から約1年。ゼーラント地方と日本の食材を融合させた革新的な料理は、伝統を大切にしながらも新鮮な驚きをもたらすとして、高い評価を得ている。今後について尋ねると、さらなる挑戦への意欲を見せた。

「私たちは、素晴らしい料理、創造性、充実した食体験という基本的な価値観を大切にしながら、さらなる成長を目指しています。私たちのコンセプト“NEW ITALIAN”を様々な市場に広め、〈ル・プリスティン〉を現代の料理界で広く知られる存在にしたいと考えています」

発行人
 Publisher
 成井 毅 Tsuyoshi Narui
 編集長
 Editor in Chief
 伊藤雅信 Masanobu Ito
 メディア事業部 部長
 Media Dept. Director
 伊藤隆寛 Takahiro Ito
 メディア事業部
 Media Dept. Staff
 梅原孝介 Kosuke Umehara
 田中愛望 Aimi Tanaka
 メディア事業部 進行
 Media Dept. Coordinator
 吉田千晃 Chiaki Yoshida

アートディレクター
 Art Director
 藤澤拓也 Takuya Fujisawa (ANAGUMA)
 デザイナー
 Designer
 渋谷裕子 Yuko Shibue (ANAGUMA)

コントリビューティング・エディター&ライター
 Contributing Editors & Writers
 池上隆太 Ryuta Ikegami
 遠藤 匠 Takumi Endo
 大嶋慧子 Keiko Oshima
 古関千恵子 Chieko Koseki
 渋谷康人 Yasuhito Shibuya
 中村孝則 Takanori Nakamura
 野中邦彦 Kunihiko Nonaka
 長谷川茂雄 Shigeo Hasegawa
 前田聡美 Satomi Maeda
 山口幸一 Koichi Yamaguchi
 渡邊ひかる Hikaru Watanabe

●本誌掲載商品の価格表示はすべて税込み価格です。
 ●本誌内の記事及び写真、イラストなどの無断複写、複製、放送などを禁じます。
 ●本誌の編集内容に関するお問い合わせは日之出出版代表番号までお願いいたします。なお、土・日・祝日はお休みとなっております。

株式会社日之出出版
 〒104-8505 東京都中央区築地5-6-10
 浜離宮パークサイドプレイス7F
 代表☎03-5543-2221
 広告☎03-5543-1131

〈ル・プリスティン東京〉

2023年12月〈ホテル虎ノ門ヒルズ〉にオープン。オランダ・ゼーラント地方と日本の食材を用いた“NEW ITALIAN”を提供する。「食」「ファッション」「デザイン」「アート」「音楽」の5つのエレメントによる没入型ガストロノミー体験が特徴。セルジオ・ハーマンは1970年オランダ・ゼーラント州生まれ。両親から受け継いだ店「アウトスラウス」でミシュラン3つ星を獲得し、「世界のベストレストラン50」に8年連続でランクインした。

A full-page photograph of actor Sebastian Stan. He is wearing a dark, double-breasted suit jacket over a white dress shirt and a dark tie. He has dark hair and a well-groomed beard. He is looking slightly to his right with a neutral expression. The background is a white wall with large, stylized black and red text, including the letters 'F', 'D', 'A', 'S', 'H', 'W', 'S', 'E', 'N'.

SEBASTIAN STAN

【セバスチャン・スタン】

写真=AFLO 文=渡邊ひかる
photo by AFLO text: Hikaru Watanabe

PROFILE

1982年、ルーマニア生まれ。12歳のときに米・ニューヨーク州に移住、俳優の道へ。人気ドラマ『ゴシップガール』のカーター・ベイゼン役で注目を集める。2011年、『キャプテン・アメリカ/ザ・ファースト・アベンジャー』に出演し、のちにウィンター・ソルジャーとなるバッキー・バーンズを好演。以降、複数のMCU作品で同役を演じ続けている。他の出演作に『ブラック・スワン』『オデッセイ』『ラスト・フル・メジャー 知られざる英雄の真実』など。『ア・ディファレント・マン(原題)』では第74回ベルリン映画祭主演俳優賞に輝いた。

セ

バスチャン・スタンといえば、『アベンジャーズ』を軸とするマーベル・シネマティック・ユニバース、通称MCUのヒーロー、ウィンター・ソルジャーの姿を思い浮かべる人が大半だろう。キャプテン・アメリカの親友にして、一時は敵対関係にも陥ったウィンター・ソルジャーことバッキー・バーンズの物語は大勢のMCUファンを熱狂させることに。彼とキャプテン・アメリカの哀しき友情にスポットを当てた『シビル・ウォー／キャプテン・アメリカ』を、一連のシリーズの最高傑作に推す声も多い。TVドラマや舞台を中心に活躍していたセバスチャン・スタンのキャリアにおいても、運命の思わぬ渦にのみ込まれる悲劇のヒーロー、ウィンター・ソルジャーを好演したことが大きな転機となった。

しかしながら、ウィンター・ソルジャーがMCUの映画に登場したのは、シリーズ自体が一旦のエンディングを迎えた2019年の『アベンジャーズ／エンドゲーム』が最後。同年にはウィンター・ソルジャーがヒーロー仲間のファルコンとコンビを組んで活躍するドラマ『ファルコン&ウィンター・ソルジャー』の撮影がはじまったものの、コロナ禍の影響による制作中断などに見舞われ、配信に至るまで2年弱を要することになった。その後、MCUのシリーズ自体が改変期に入ったこともあり、スクリーンやテレビで彼の活躍を楽しめる機会はしばらくおあずけ。ウィンター・ソルジャーが次に登場するのは、MCUのアンチヒーローたちが集う新作映画『サンダーボルト*(原題)』にて！ と発表されたのは、2022年9月のことだった。

キャプテン・アメリカ役のクリス・エヴァンスら、MCUを牽引してきたスター俳優たちの多くがシリーズからの卒業状態にある今、初期メンバーでありながらMCUとの未長いつき合いを感じさせるスタンの存在は貴重かもしれない。すでに撮影済みの『サンダーボルト*』は、日本でも来年のゴールデンウィークに公開予定。ウィンター・ソルジャーは作品の中で、アンチヒーローたちが組むグループのリーダー的役割を担うという。ヒーローの親友だったはずが、壮絶な運命を経てヒーローの敵と化し、問題を乗り越えて再び絆を結び、今度は一癖も二癖もある者たちのリーダーへ。ウィンター・ソルジャーがたどる道はなんとも複雑で、その分興味深くもあるが、スタン自身もストーリーを

楽しんでいる様子。演じるキャラクターの成長と、俳優セバスチャン・スタンの成長。そのふたつをうまく融合させながら、キャリアを前進させることに注力しているようだ。

とはいえ、もちろんセバスチャン・スタンのキャリアはウィンター・ソルジャーに終始するものでは決していない。『シビル・ウォー／キャプテン・アメリカ』が公開された翌年、『アイ、トーニャ 史上最大のスキャンダル』ではヒーローから一転、フィギュアスケート選手トーニャ・ハーディングの暴力的な元夫を演じて衝撃を与えることに。『パム&トミー』ではヘヴィメタルバンド、モトリー・クルーのドラマーとして知られるトミー・リーをエキセントリックに演じ、エミー賞主演男優賞にノミネートされた。ヒーロー役と大事につき合っていく一方、そのイメージを軽々と飛び越えてくるスタンだが、そんな彼にとっても大きな挑戦であったに違いない“問題作”が来年1月に日本公開。カンヌ映画祭でも話題をさらった『アプレントイス：ドナルド・トランプの創り方』では、あのドナルド・トランプを演じている。説明するまでもなく、ドナルド・トランプといえば規格外の発言と行動で知られるアメリカ合衆国元大統領(このたびの選挙で“元”ではなくなったが)。かつては成功を夢見る

初々しい若者だったトランプがある人物との出会いを経て、現在の彼に近い姿へと変貌していく過程を追ったのが『アプレントイス：ドナルド・トランプの創り方』だ。スタンが演じるのは今の人物像とは異なる若き日のトランプが中心とはいえ、周囲からは出演に反対する声も上がったとか。だが、俳優としての挑戦に背を向ける選択肢はなかったようで、反対の声がむしろ彼の背中を押したという。また、売れっ子俳優ゆえの宿命というべきか、『アプレントイス：ドナルド・トランプの創り方』の撮影を終えた直後、『サンダーボルト*(原題)』の撮影現場に向かうというハードスケジュールをこなすことに。トランプを演じるうえで增量も余儀なくされていたところから一変、ヒーローらしい身体つきに戻すためのワークアウトに取り組む必要もあった。

短期間での肉体改造に悩まされるばかりか、役から役への切り替えにも実は少々てこずったというスタン。もちろん、それはあくまでも彼の中での問題であり、我々が目にするのは完璧なウィンター・ソルジャーだろうが、幅広い役柄に挑み続ける彼は今後も役ごとに頭を悩ませることになるだろう。そして、悩みと向き合うことをどこか楽しんでいるセバスチャン・スタンもいる気がする。



『アプレントイス ドナルド・トランプの創り方』

破産寸前にまで追い込まれた若きトランプ(スタン)は、政財界の実力者が集う高級クラブで悪名高き辣腕弁護士ロイ・コーンに出会う。勝つためには手段を選ばないコーンはトランプを気に入り、“勝つための3つのルール”を伝授するが、それが思いもよらない怪物を生み出すことに……。監督は『聖地には蜘蛛が巣を張る』のアリ・アップバシ。ロイ・コーンを『メディア王 ~華麗なる一族~』のジェレミー・ストロングが演じる。

2025年1月17日、TOHOシネマズ日比谷ほかにて全国公開

©2024 APPRENTICE PRODUCTIONS ONTARIO INC. / PROFILE PRODUCTIONS 2 APS / TAILORED FILMS LTD. All Rights Reserved.

反対される多くの声に反発するように
「渦中の人」の役柄へと挑戦。

セバスチャン・スタン

In Your CLOSET*

一生モノのレザーコートをワードローブに。

冬アウターの大本命であるコートは、できれば長く愛用したいアイテムのひとつ。〈エルメス〉から登場したリバーシブルシープスキンのコートは、大人にふさわしい上質さと機能性を兼ね備えた最強の1着といえそうだ。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順、松本 恵 文=野中邦彦 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara(CaNN) hair&make-up: Jun Matsumoto, Megumi Matsumoto
text: Kunihiko Nonaka(OUTSIDES Inc.) composition: Keiko Oshima



COAT

エルメスの “レザーテディパーカ”

モコモコとした素材感が楽しいテディパーカ。カジュアルな印象が強いアイテムではあるが、上質なリバーシブルシープスキンを使用した〈エルメス〉の1着は、むしろスタイリッシュさやダンディさが際立つ仕上がりだ。表面が黒とグレーのバイカラーになったシアリング、裏面が黒の表革になっており、毛足の密度が高く防寒性も十分。フードの存在がほどよい軽快さを生み、都市の風景にもよく馴染む。冬のワードローブに加えて、長く楽しみたい。

コート401万5000円、シャツブルゾン30万2500円、ニット30万5800円、パンツ11万4400円、靴38万600円、ロングネックレス13万2000円、ネックレス14万9600円(以上エルメス/エルメスジャパン)

In Your CLOSET*

クラシックカーへの愛にあふれたコレクション。

日本におけるクラシックカーの祭典「RALLY NIPPON」。そのメインスポンサーを務めた〈ダンヒル〉が、特別なカプセルコレクションを発表。モトリティーズとの深い関わりから生まれる極上の世界観に注目だ。

DUNHILL / ダンヒル

CAPSULE COLLECTION

ダンヒルの「RALLY NIPPON 2024 CAPSULE COLLECTION」

約60台のクラシックカーが軽井沢に集い、4日間をかけて奥飛騨や金沢城などを巡り、京都でゴールを迎えた「RALLY NIPPON 2024」。今年で14回を迎えたこの祭典をスポンサーした〈ダンヒル〉が、「RALLY NIPPON 2024 CAPSULE COLLECTION」を発表した。〈ダンヒル〉と自動車の関係は非常に長く、いわばブランドの血肉といえるもの。極上のカシミアニットやツイードのハンチングなど、英国クラシックスタイルの粋を堪能したい。

ニット21万3400円、帽子6万4020円、サングラス6万6000円、手袋6万8420円、横に置いたジャケット35万9700円、バッグ25万4100円、キーホルダー4万5100円(ダンヒル)



「RALLY NIPPON 2024」のロゴ入りのキーホルダー。どこことなくクラシックなデザインが粋。〈ダンヒル〉のロゴも

In Your CLOSET*

最高のラグジュアリー素材ビキューナを身にまとう。

希少性と繊細な毛質から、最上級の素材に位置づけられるビキューナ。(ブルネロ クチネリ)のビキューナは、その最高の素材と卓越した職人技を融合したコンテンポラリーで汎用性が高いアイテムを提案。



CAP

ブルネロ クチネリの
"キャップ"



DOWN VEST

ブルネロ クチネリの
"ダウン ベスト"



BLANKET

ブルネロ クチネリの
"ブランケット"



JACKET

ブルネロ クチネリの
"ジャケット"

D
優雅で上品な光沢感、そして包み込まれるような柔らかさと暖かさ。そんなビキューナの魅力を余すところなく堪能できるのが、この大判ブランケット。同色の縁取りをアクセントに、どんな着こなしにも溶け込む深い色合いに仕上げている。ある意味、この上なくラグジュアリーなアウターウェアだ。

メイド トゥ オーダーのブランケット517万6600円、ニットはBと同じ、パンツ18万1500円(以上ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン)

C
最高級素材のカシミアとビキューナを、あえてデイリーなキャップとして取り入れる。そんな贅沢ができるのも(ブルネロ クチネリ)だからこそ。ちょっとした散歩や買い物であっても、これだけで少し気分が盛り上がるのでは? 通気性を確保し、フィット感を高めるアイレットもしっかり設けられている。

帽子22万9900円、ダウンベスト、ニットはAと同じ、ジャケットはBと同じ(以上ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン)

B
トラディショナルなテイラーリングをベースにしつつ、洗練されたフォルムやディテールを取り入れたビキューナジャケット。パッチポケットのブレザータイプで、どこか優しげでリラックスした佇まいが魅力だ。ボタンはクラシックなホーン製。パートナーのピーコートとの"お揃い"も洒落ている。

男:メイド トゥ オーダーのジャケット374万6600円、ニットはAと同じ、サングラス8万9210円(以上ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン) 女:メイド トゥ オーダーのコート394万9000円、ニット17万8200円(以上ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン)

A
スポーティですっきりとしたシルエットのダウンジレを、最高級素材のビキューナで楽しむ贅沢なスタイル。スタイリッシュなメタルボタンと組み合わせることで、ジャケットの上にさらりと羽織れる落ち着いたデザインに仕上げている。オーダー後にイタリアで製作し、納期は3~4か月(以下同じ)。

メイド トゥ オーダーのダウンベスト293万7000円、ジャケットはBと同じ、ニット23万7600円、パンツ17万2700円、帽子はCと同じ、バッグ77万9900円(以上ブルネロ クチネリ/ブルネロ クチネリ ジャパン)

In Your CLOSET*

100年を超えても色褪せない魅力。

1921年に職人によるトラベルバッグの工房兼ショップとしてスタートした〈グッチ〉。その歴史と伝統を受け継ぎ、今なおセレブリティやジェットセッターに愛されるトラベルバッグを生み出し続けている。

BAG

グッチの“トラベルバッグ”

〈グッチ〉創業者のグッチオ・グッチは、若き日にロンドンのザ・サヴォイでポーターをしていたという。その経験から旅に魅了され、故郷フィレンツェでトラベルバッグの工房兼ショップを開くに至る。以来、ウェブ ストライプやダブルGといった意匠とともに世界中で愛されてきたのはご存知のとおり。そんな歴史の重みを感じることができるのが、“グッチ バリジェリア”コレクションのトラベルバッグだ。2023年から迎えたクリエイティブ・ディレクター、サバト・デ・サルノのクリーンで情熱的なコレクションともマッチする。

GUCCI / グッチ

コート76万4500円、ブルゾン38万5000円、
パンツ27万5000円、靴16万8300円、置いた
サングラス5万3900円、上：バックパック
(W22×H30.5×D11cm)30万8000円、右下：
トロリー (W38×H51×D21cm)41万8000円、
手に持ったダブルバッグ(W44×H27.5×
D24cm)35万7500円、左：新作のミディアム
ダブルバッグ(W45.5×H29×D27cm)26
万9500円、左下：新作のラージ ダブルバ
ッグ(W52×H34×D30cm)30万2500円(以
上グッチ/グッチ クライアントサービス)

01

個性を放つレクタンギュラー&スクエアウォッチ。

ひと味違う“大人の洒落心”をアピールしたい。そんなあなたに是非1本、手に入れてほしいのが丸型にはない、折り目正しい印象が漂うレクタンギュラーやトノー、スクエア型ウォッチだ。

心ときめく
新作時計。

セレクト&文=渋谷康人 構成=池上隆太
select&text: Yasuhito Shibuya
composition: Ryuta Ikegami(AM5:00)

HUBLOT

[ウブロ]

2022年登場のスクエア型クロノ
待望のマジックゴールドモデル!

〈ウブロ〉自慢のクロノグラフ“ビッグ・バン”の中でも新鮮なスクエア(正方形)ケース。2022年の発表から大人気のこのコレクションに贅沢さとスポーティさを兼ね備えた、通常のゴールドより硬度が高く傷がつきにくい独自の18金“マジックゴールド”モデルがついに登場した。

スクエア・バン ウニコ マジックゴールド

オープンワーク仕様でフライバック機能つき。文字盤からコラムホイールが見える。ケースサイズ42mm、ケース厚14.7mm、自動巻き、18Kマジックゴールドケース、ラバーストラップ、100m防水、世界限定200本。586万3000円(ウブロ/LVMHウォッチ・ジュエリー ジャパン ウブロ)



CARTIER

[カルティエ]

1912年の伝説のトノー型モデルが
最新の技術で美しく現代に再誕!

トーチ(亀)の甲羅をモチーフに1912年に誕生したトノー型ウォッチの名作が、自社製薄型ムーブメントと、オリジナルを超える美しさで現代に甦った。レイルウェイ付きのローマン数字、グレイン&ゴールド仕上げの文字盤とケースのフォルムは眺めれば眺めるほど美しい。

カルティエ プリヴェ 「トーチ」ウォッチ

プラチナケースとそのジュエリー仕様の2モデル。クロノグラフモデルもある。ケースサイズ41.4×32.9mm、ケース厚7.2mm、手巻き、18KYGケース、アリゲーターストラップ、日常生活防水、世界限定200本。488万4000円(カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター)



Lucas Horenburg © Cartier

PIAGET

[ピアジェ]

ラウンド型とクッション型が
融合した優雅なスタイル!

機械式、特に超薄型のムーブメントの製造の名門であると同時に、優雅なデザインの宝飾時計でも世界を魅了。そのスポーツウォッチ“ピアジェ ポロ”の最新モデルは、優美なカタチのピンクゴールドのケースと水平ギョーシェ模様のチョコレート色文字盤、その色合わせが絶妙!

ピアジェ ポロ デイト ウォッチ

搭載ムーブメントは、〈ピアジェ〉の真髄ともいえる超薄型、日付表示付き、厚さわずか4mmのキャリバー 1110Pを搭載。ケース径42mm、ケース厚9.4mm、自動巻き、ピンクゴールドケース、アリゲーターストラップ、10気圧防水、462万円(ピアジェ/ピアジェ コンタクトセンター)



GIRARD-PERREGAUX

[ジラルール・ベルゴ]

レクタンギュラーウォッチの名作
日本だけの特別限定モデル

200年を超える歴史を持つ名門〈ジラルール・ベルゴ〉。その角形時計の名作のひとつが、1945年にオリジナルモデルが誕生した“ヴァンテージ 1945”。この日本限定モデルは“明るい曇り空の銀色と、そのすき間からのぞく青空”をイメージした文字盤がシックな大人の時間を表示する。

ヴァンテージ1945 グレー 日本限定モデル

シースルーバックのケースは、腕の丸みに合わせて絶妙にカーブしているのにつけ心地は極上。ケースサイズ33.3×32.46mm、ケース厚9.66mm、自動巻き、SSケース、アリゲーターストラップ、30m防水、日本限定200本。184万8000円(ジラルール・ベルゴ/ソーウインド ジャパン)



FREDERIQUE CONSTANT

[フレデリック・コンスタント]

クラシックなレクタンギュラーに
自慢の“ハートビート”機構を!

“機械式時計の魅力をあらゆるひとに”との思いから1988年に生まれた〈フレデリック・コンスタント〉。その象徴が、時を刻む脱進調速機の動きが文字盤の窓から楽しめる“ハートビート機構”を搭載したレクタンギュラーモデル。ローマ数字文字盤のクラシックな雰囲気も魅力。

クラシック カレ オートマチック
ハートビート(日本限定)

優雅な曲線を持ったケースの造形やタマネギ型のリュウズも魅惑のディテール。日本限定発売。ケースサイズ33.3×30.4mm、ケース厚9.71mm、自動巻き、SSケース、カーフストラップ、3気圧防水。23万6500円(フレデリック・コンスタント/フレデリック・コンスタント相談室)



BELL & ROSS

[ベル&ロス]

神秘的な輝きをみせる
文字盤カラーに注目!

世界で最も美しいともいわれるモルフォ蝶の羽のように、光の当たる角度によって表情を変える魅惑的な“イリデセント文字盤”。そこにブランドを象徴するスクエア型の多層構造ケースを採用し、美しい融合を遂げた。人気を博すラグスポモデルの新境地がここに登場!

BR-X5 イリデセント

美しい文字盤の下では、ケニッシ社と共同開発のCOSC認定のマニファクチュールムーブメント“BR-CAL.323”が駆動。パワーリザーブ約70時間。ケースサイズ41mm、ケース厚12.8mm、自動巻き、SSケース & ブレス、100m防水。122万1000円(ベル&ロス/ベル&ロス 銀座ブティック)



02

時計好きのロマンあふれるコンプリケーションウォッチ。

数百年に及ぶ時計製造の歴史を作った有名無名の時計師たち。彼らの知恵と技術の結晶が、機械の芸術品といえる複雑時計。〈パテック フィリップ〉を筆頭に、今期も素晴らしいメカニズム、デザインの新作が続々と発売！

HARRY WINSTON

[ハリー・ウィンストン]

トゥールビヨンにワールドタイム、そしてダイヤの輝きに満ちた1本

“HW オーシャン”コレクション、世界5本の最新限定モデルは文字盤6時位置にトゥールビヨン&スモールセコンド、9~11時位置に都市名付きのGMT機能。364個のパゲットカット・ダイヤモンドを含む総計389個のダイヤモンドをインビジブルセッティングした超贅沢仕様！

HW オーシャン・トゥールビヨン GMT
ワールドタイマー

ダイヤの総カラット数は約19.81ctにも！ ケース径46mm、ケース厚15.5mm、自動巻き、18KWGケース、アリゲーターストラップ、5気圧防水、世界限定5本(直営サロン限定)。5792万6000円(ハリー・ウィンストン/ハリー・ウィンストン クライアントインフォメーション)



PATEK PHILIPPE

[パテック フィリップ]

インラインパーペチュアル
待望のクラシックフェイス!

文字盤中心から少し上に曜日・日付・月を横並びでレイアウト。4時位置にうるう年カウンター、6時位置に月齢と秒、8時位置に昼夜表示を備える。唯一無二のパーペチュアルカレンダーモデルに待望のローズゴールド・オーバーリン文字盤が登場した。クラシックな味わいが素晴らしい。

5236P インライン表示永久カレンダー

Ptケースの定石どおり、ケース6時位置にはダイヤモンド1個がセットされている。ケース径41.3mm、ケース厚11.07mm、自動巻き、Ptケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水、2239万円(パテック フィリップ/パテック フィリップ ジャパン・インフォメーションセンター)



IWC

[アイ・ダブリュー・シー]

3999年まで修正不要な
超絶エターナルカレンダーを搭載!

1980年代にはじまるIWCのパーペチュアルカレンダー機構への挑戦。その究極モデルが、400年周期のうるう年ルールをシンプルなメカニズムで組み込んだこの新作。12時位置に搭載されるダブルムーンフェイズ表示の“4500万年に約1日”という天文学的な高精度も驚き！

ポルトギーゼ・エターナル・カレンダー
Ref.IW505701

400年に4回ある、100で割り切れる年。そのうち3回はうるう年をスキップするというグレゴリオ暦のルールをわずか8個の歯車で実現した。ケース径44.4 mm、ケース厚14.9mm、自動巻き、Ptケース、アリゲーターレザーストラップ、5気圧防水。価格要問い合わせ (IWC)



AUDEMARS PIGUET

[オーデマ ピゲ]

最新カーボン素材を採用した
超絶スプリットセコンドクロノ!

2023年発表のGMT & スプリットセコンドクロノグラフ機能にラージデイト表示を搭載したモデルが、5年をかけ開発した素材“CFTカーボン”をミドルケースに採用して軽量仕様に進化。混ぜ込まれた蓄光性ブルーファイバーが暗所で光るドラマチックな演出も見逃せない魅力。

ロイヤル オーク コンセプト スプリットセコンド
クロノグラフ GMT ラージデイト

“キャリバー 4407”には複雑機構を複数搭載。CFTカーボンは軽量で、衝撃や熱、湿度に耐性がある、自社開発の新素材だ。ケース径43mm、ケース厚17.4mm、自動巻き、CFTカーボンケース、ブラックセラミックベゼル、5気圧防水。価格要問い合わせ (オーデマ ピゲ/オーデマ ピゲ ジャパン)



BREITLING

[ブライトリング]

ブランド誕生140周年記念
自社製パーペチュアルカレンダー!

総合時計ブランドへと進化を続ける機械式クロノグラフの名門。創業140周年を記念した3種の限定モデルは、メゾン初の新開発・自社製パーペチュアルカレンダー&クロノグラフムーブメントを搭載している。これはベゼルに航空用計算尺機能を搭載したナビタイマー。

ナビタイマー B19 クロノグラフ 43
パーペチュアルカレンダー 140周年アニバーサリー

専用ボックスのほか(ブライトリング)140年の歴史を飾る140のストーリーをまとめた記念本も付属。ケース径43mm、ケース厚15.62mm、自動巻き、18KRGケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水、世界限定140本。777万7000円(ブライトリング/ブライトリング・ジャパン)



ROGER DUBUIS

[ロジェ・デュブイ]

スケルトンウォッチを
モダンなキネティック・アートに

時計師ロジェ・デュブイ氏が1995年に創業。以来、複雑時計の可能性に挑み続ける超絶ブランド。この新作は2009年にファーストモデルが誕生した芸術的な可能性を追求するトゥールビヨン・スケルトンモデルの最新バージョン。ありきたりの時計では満足できないあなたに!

エクスカリバー チタン モントゥールビヨン

アストラルモチーフの大胆なスケルトン構造が目を引く。文字盤7時位置にフライングトゥールビヨンを搭載している。ケース径42mm、ケース厚12.62mm、手巻き、Tiケース&ブレス、100m防水、世界限定28本。2288万円(ロジェ・デュブイ/ロジェ・デュブイ銀座ブティック)



03

冒険心をくすぐるトラベラーズウォッチ。

再び世界旅行を楽しめる今、是非手に入れたいのが、これから訪れる国や後にした国の現在時刻がひと目でわかるワールドタイムやデュアルタイム(GMT)ウォッチ。機能もデザインも多彩だ。あなたが選ぶ1本はどれ？

PANERAI

[パネライ]

重さは従来モデルの約60%!
海の男のためのGMTダイバーズ

〈パネライ〉がスポンサードする世界最高峰のヨットレース“アメリカズカップ”挑戦艇の名を冠したGMTダイバーズの新作。サテンチタン素材の採用でSS製の前モデル比約60%という驚きの軽さ、軽快なつけ心地を実現。クールでスポーティな色使いが旅の気分を盛り上げる。

サブマーシブル GMT ルナ・ロッサ チタニオ

防水性や形状安定性を備えた天然ラバーの“カウチューストラップ”とトラベルポーチが付属。プティック限定モデル。ケース径42mm、ケース厚14.38mm、自動巻き、チタニオ(チタン)ケース、ラバーストラップ、50気圧防水。185万9000円(パネライ/オフィチーネパネライ)



BREGUET

[ブレゲ]

世界のふたつのタイムゾーンが
ボタンひとつで切り替えられる!

ラテン語で“世界の時間”という名前で、時計通達を唸らせたワールドタイムは、世界24のタイムゾーンから選んだふたつの時刻を文字盤8時位置のボタンひとつで呼び出せる独自機構を搭載した。4時位置にはデイ/ナイト表示も搭載し、優雅に旅をサポートしてくれる。

マリーヌ オーラ・ムンディ 5557

文字盤中央、透明なサファイアクリスタルの上にメタライズド加工で世界地図が描かれた文字盤の美しさもこのモデルの魅力。ケース径43.9mm、ケース厚13.5mm、自動巻き、18KRGケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水。1224万3000円(ブレゲ/ブレゲプティック銀座)



OMEGA

[オメガ]

レーザー加工による文字盤の
美しい世界地図をお見逃しなく!

文字盤中央で1日1回転し、世界各国の現在時を表示する24時間ディスク。内側の山から海まで美しくレーザー加工で再現した世界地図の美しさが際立つワールドタイマーだ。もちろん〈オメガ〉が誇る“マスタークロノメーター”ムーブメントの高精度&超耐磁性能も大きな魅力。

シーマスター アクアテラ GMT ワールドタイマー

中央の世界地図の仕様はアジア、EU、USAの3種類がラインナップされ、こちらはアジア仕様。海のブルーも山のブラウンもすべてレーザー加工によるものだというから驚く。ケース径43mm、ケース厚14.1mm、自動巻き、SSケース、ラバーストラップ、15気圧防水。149万6000円(オメガ)



MONTBLANC

[モンブラン]

タフな新素材ケースに独自技術と
ワールドタイム機構を搭載!

北南両半球の現在時刻をふたつの回転ディスクで表示する独自のワールドタイム機構を、二酸化炭素を閉じ込めた“CARBO2(カーボツー)”素材ケースに搭載。ケース内の酸素をゼロにすることでムーブメントを長持ちさせるゼロオキシジェン技術の採用も見逃せない!

モンブラン 1858 ジオスフェール
ゼロ オキシジェン CARBO2 LE 1969

CARBO2はリサイクルの過程で生じた炭酸カルシウムとカーボンファイバーから作られたもの。ケース径43.5mm、ケース厚13mm、自動巻き、カーボ2ケース、ラバーストラップ、100m防水、世界限定1969本。130万2000円(モンブラン/モンブランお客様サポート)



GRAND SEIKO

[グランドセイコー]

世界に誇るGSのspringドライブ
誕生20周年記念モデル!

クォーツと機械式の魅力をあわせ持つGS専用のspringドライブムーブメント“9R”。その誕生20周年を記念するGMT機能つきの特別な限定モデル。文字盤はこのモデルが作られる長野県の組み立て工房から見える朝日に照らされ、赤く輝く夏の穂高連峰がモチーフとなっている。

スポーツコレクション キャリバー9R
20周年記念限定モデルSBGE305

“キャリバー9R66”ムーブメントを搭載している。ケース径40.5mm、ケース厚14.7mm、springドライブ(自動巻き&手巻き付き)、SSケース&プレスレット、20気圧防水、世界限定1300本(国内600本)。84万7000円(グランドセイコー/セイコーウォッチお客様相談室)



TUDOR

[チューダー]

スポーティでしかも上品
機能面でもスグレモノの1本

通常の3本の針に加えて、もうひとつのタイムゾーンの“時”を表示するスノーフレイク型の24時針を装備。さらに両方向回転式の24時間ベゼルで3つめのタイムゾーンの時刻もわかる。この定番機能と上品なホワイトオパール文字盤が融合。オン・オフを問わずにつけられる。

ブラックベイ GMT

約70時間のロングリザーブ仕様。COSCに認定されたクロノメータームーブメント“マニファクチュールキャリバーMT5652”を搭載する。ケース径41mm、ケース厚14.6mm、自動巻き、SSケース&プレスレット、200m防水。61万3800円(チューダー/日本ロレックス/チューダー)



04

大人の品格が漂うシンプル&エレガントウォッチ。

2024年の新作時計の一番のトレンドが、多機能なスマートウォッチの対極にある、機能もデザインもシンプルな機械式の薄型ウォッチ。手間をかけて作られたものだけが持つ風格を、あなたの腕に。

BLANCPAIN

[ブランパン]

とにかくシンプルでクラシック!
これぞ究極のホワイトウォッチ

メゾンの“6マスターピース(6大傑作)”のひとつとして、複雑時計とともに超薄型機械式モデルを開発。その技術的な価値とエレガンスを時計愛好家に知らせた(ブランパン)。その伝統を受け継ぐこの超薄型モデルは、約100時間パワーリザーブという驚きの性能を誇る逸品。

ヴィルレ ウルトラスリム

厚さ3.25mmの搭載ムーブメント“キャリバー 1151”はシリコン製ひげぜんまいでロングパワーリザーブと優れた精度、耐磁性を実現。ケース径40mm、ケース厚8.7mm、自動巻き、SSケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水。157万3000円(ブランパン/ブランパン ブティック 銀座)

VACHERON
CONSTANTIN

[ヴァシュロン・コンスタンタン]

ジュネーブの名門の歴史と伝統
ゴールドの魅力が凝縮された1本

一見、プレーンに見えるが、光が当たる角度で同心円上のくぼみが繊細な輝きを放つ文字盤とケース。すべてをゴールドで統一。シンプルでエレガントな世界を極めた“パトリモニー”コレクション誕生20周年記念モデル。パーガンディーのストラップとの色合わせも完璧だ。

パトリモニー・オートマティック

デザイナー、オラ・イトとのコラボにより誕生。48個のミニッツトラックもゴールド製だ。自社製キャリバー“2450 Q6”を搭載。世界限定100本。ケース径40mm、ケース厚8.55mm、自動巻き、18KYGケース、カーフスキンストラップ、3気圧防水。528万円(ヴァシュロン・コンスタンタン)



CHOPARD

[ショパール]

1997年にはじまる“L.U.C伝説”
その歴史と美学を凝縮した1本!

“自分の手ですべて納得できる機械式時計を作りたい”という現共同社長カール・フリードリッヒ・ショイフレの思いで1997年に始まった“L.U.C”コレクション。グリーン文字盤の最新モデルは自社製ムーブメントと環境に優しい独自素材をケースに。時計愛好家も納得の名作だ。

L.U.C XPS フォレスト グリーン

スイス公式クロノメーター検定局が15日間にわたって行う精度テストに合格した“キャリバー L.U.C 96.12-L”を搭載する。ケース径40mm、ケース厚7.2mm、自動巻き、ルースェントスチール™ケース、カーフストラップ、30m防水。174万9000円(ショパール/ショパール ジャパン プレス)



ZENITH

[ゼニス]

気分が上がるメタリックピンクを
お洒落のアクセントに!

八角形ベゼルを筆頭に、シャープなディテールや10振動ムーブメントで人気を博す“デファイ スカイライン”。その最新作は、ひと目見ただけで気分が高揚するサンバーストメタリックピンクダイヤルだ。世界100本限定発売で、売り上げの20%が乳がん患者支援団体に寄付される。

デファイ スカイライン ピンク エディション

ストラップをワンタッチで交換できるインターチェンジャブル仕様で、ホワイトラバーストラップも付属。パートナーとシェアするのもあり。ケース径41mm、自動巻き、SSケース & プレスレット、10気圧防水、世界限定100本。137万5000円(ゼニス/LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン ゼニス)



LONGINES

[ロンジン]

デザインからメカニズムまで
スイス屈指の名門の魅力が満載!

1832年創業の名門の新作は、サンレイ加工で中央からバナナベージュカラーの煌めきに心奪われるエレガントな逸品。文字盤6時位置の指針式デイト付きムーンフェイズ表示が、懐中時計を彷彿させるクラシックな味わいをさらに高めている。少し小さめのケースサイズも絶妙といえる。

フラッグシップ ヘリテージ

ケース裏の帆船モチーフのメダリオンも、このモデルの見逃せない魅力のひとつ。シリコンひげぜんまいを使ったエクスクループムーブメントを搭載する。ケース径38.5mm、ケース厚12.4mm、自動巻き、SSケース、アリゲーターストラップ、3気圧防水。47万8500円(ロンジン)



TAG HEUER

[タグ・ホイヤー]

トレンドの小さめ36mmサイズ!
ターコイズブルーで存在感も抜群

スポーティでしかもエレガントなスポーツウォッチの名門の最新作は、公式オンライン限定。トレンドの“少し小さめ”な直径36mmサイズだ。スネール & サテン仕上げの美しいターコイズブルー文字盤はオン・オフを問わず、いつも腕元に華やかなアクセントを加えることに間違いなし。

タグ・ホイヤー カレラ デイト

公式オンラインショップ限定の特典として、トラベルボーチが付属しているのもこのモデルの魅力だろう。ケース径36mm、ケース厚10.2mm、自動巻き、SSケース & プレスレット、50m防水。48万9500円(タグ・ホイヤー/LVMH ウォッチ・ジュエリー ジャパン タグ・ホイヤー)



Cartier

気品漂う〈カルティエ〉がエグゼクティブの相棒。

さりげないゴールドで
品格と華やぎを。

立ち居ふるまいやちょっとした仕草も問われるエグゼクティブにとって身につけるものは当然、気の抜けない重要課題。ウエアはもちろん、小物だって意識を高く持っていたい。〈カルティエ〉にはそんな思いを叶えるジュエリーやツールが充実。華やかなゴールドをあくまでさりげなく仕上げた逸品が、リーダーの手元を優雅に彩る。

写真=正重智生 スタイリング=田川 匠 ヘア&メイク=菊地倫徳 構成&文=池上隆太
photo: Tomoo Syoju (BOIL) styling: Takumi Tagawa hair&make-up: Michinori Kikuchi
composition&text: Ryuta Ikegami (AM5:00)

ジャケット19万6900円(ラルディーニ/トヨダトレーディングプレスルーム)、ニット4万9500円(ドルモア/パインド ピーアール)、パンツ5万7200円(PT トリノ/PT ジャパン)、ブレスレット187万4400円、ボールペン7万5900円(以上カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター)、その他はスタイリスト私物



身

につけるものひとつひとつが注目されるビジネスエグゼクティブ。ちょっとした小物のチョイスだけで仕事相手からの印象も左右するため、ディテールまで隙なく自分をブランディングするべきだ。特に手元は書類を扱ったり、仕事相手の目を引く部分。必ず整えておきたいところではある。そこで、注目したいのが〈カルティエ〉だ。いうまでもなく、世界5大ジュエラーとし

て名高いメゾン。リーダーの手にふさわしい品格を備えていることは間違いない。YGに磨きの加工を施し、マットな質感に仕上げたブレスレットやポイントでPGをあしらったペンは、華美すぎない“ちょうどいい”存在感を放つ。合わせる時計は、ケースにYGを採用した新作の“タンク アメリカン”でいかがだろう。手元にゴールドを集めた統一感が華やぎを与えつつ、気品が薫る仕事姿に仕上げてくれる。

LOVE

[ラブ] ブレスレット



D

C

TANK AMÉRICAIN

[タンク アメリカン] ウォッチ



B

A

A: ブラックコンボジットのボディに色気のあるPGを。ブルーレジンのカボション付き。7万5900円(カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター) B: エレガントなレクタングラーケースはYG製。リュウズにはファセットカットのサファイヤを。182万1600円(カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター) C: エリザベス・テイラーをはじめ、セレブリティにも愛される“ラブ”コレクションのブレスレット。ブラッシュ加工で絶妙な表情を醸す新モデル。YGにダイヤをプラス。187万4400円(ともにカルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター) D: “ラブ”ブレスレット初のミディアムサイズ。太すぎず、細すぎずの絶妙な主張度。YG製。予定価格96万2500円※12月発売(カルティエ/カルティエ カスタマー サービスセンター)

SANTOS-DUMONT

[サントス デュモン] ボールペン



Information

ポップアップイベント
“カルティエ マジカルホリデー”が開催!

〈カルティエ〉のバリ旗艦店が店を構えるラベ通りをイメージした会場で、ホリデーシーズンを華やかに彩るポップアップイベント開催される。魔法をかけられたようなさまざまな体験が楽しめるほか、クリスマスツリーも登場!

期間: 2024年11月29日(金)~12月29日(日)
営業時間: 屋内スペース 12時~19時、
特設スペース 17時~21時、
クリスマスツリー点灯時間 12時~22時
※最終入場は終了時間の30分前まで
場所: 表参道交差点(東京都港区南青山5-1-1)
※入場無料

OMEGA

〈オメガ〉の“ムーンウォッチ”を新色で。

バイカラーが眩しい名作時計が
手元に自信と優雅さをもたらす。

人類初の月面着陸に立ち会った歴史的偉業とロマンを語り継ぐ
〈オメガ〉の“スピードマスター ムーンウォッチ”に、またひとつ
魅力的な選択肢が仲間入りした。“ムーンシャインゴールド”と
“セドナゴールド”が、それぞれ魅力的に引き立つ新色の
バイカラーが、自信と品格に満ちた手元を演出してくれそうだ。

写真＝野口貴司 スタイリング＝中川原 寛 ヘア&メイク＝松本 恵 文＝遠藤 匠 構成＝大嶋慧子
photo : Takashi Noguchi styling : Kan Nakagawara (Ca.NN)
hair&make-up : Megumi Matsumoto text : Takumi Endo composition : Keiko Oshima

機 械式時計がもたらす有形無形
の恩恵のひとつが、身につけ
ることで自信を与えてくれる
こと。そこには性能やプライスの高さも
当然関与しているが、語るべき歴史的な
背景があるかどうかも重要な要素。なぜ
なら時計史における歴史的な価値は、コ
ストをかけても手に入らない普遍的なモ
ノだからだ。1965年にNASA公式認定を
受け、すべての月面着陸に採用された“ス
ピードマスター ムーンウォッチ”は、この
意味において特別な価値を持つクロノグ
ラフであることに間違いはない。しかも、
今回紹介する2本の新色は、“ムーンシャ
インゴールド”、そして“セドナゴールド”
が映える“ムーンウォッチ”初のバイカラ
ーモデル。セラミックに18Kゴールドの
装飾を施す“セラゴールド”技術のタキメ
ータースケールの美しさも相まって、優
雅な手元をいっそう引き立ててくれる。

モデル着用



SPEEDMASTER MOONWATCH BICOLOR

〔スピードマスター ムーンウォッチ バイカラー〕

ポリッシュ&サテン仕上げを施したゴールドのセンターリングをもつプレスレットは、〈オメガ〉が特許を取得した“コンフォート リリース システム”を採用。最大2.3mmまで、2段階の長さ調節ができる。右：ケース径42mm、手巻き、SS×18Kムーンシャインゴールドケース&プレス、5気圧防水。279万4000円 左：ケース径42mm、手巻き、SS×18Kセドナゴールドケース&プレス、5気圧防水。279万4000円(以上オメガ)



従来の“ムーンウォッチ”と同じく、サファイア製シースルーバック仕様。美しさが際立つ“コアクシャル マスター クロノメーター キャリバー 3861”を鑑賞できる。



アウォッチは毎日のように身にまといたいものだけに、大切な人と過ごす日常にさりげなく寄り添ってくれて、なおかつ特別な気分を体験させてくれるものが理想的。〈ロンジン〉の“コンクエスト”コレクションには、まさにその理想を叶えてくれる選択肢が揃っている。70周年を記念してラインナップされた新作は、いずれもスポーティさとエレガンスが同居したスタイルが印象的。多彩な装いやシーンにすっと馴染みながら、身につける人を手元から魅力的に引き立ててくれる。とりわけ写真で男女がまとった3針モデルは、シンプリシティを極めた文字盤が、放射状のサンレイ仕上げと、コレクションを象徴するサークル装飾によって美しく引き立つ。完成したその美しさを楽しむ特別な“時”を、2人で共有してみたい。

男:コート41万8000円(カナリー/コロネット)、ニット11万8800円(ムーレー/コロネット)、その他はスタイリスト私物 女:コート9万4600円(ロウタス/ロウタスカスタマーサービス)、ワンピース9万4600円(ヴィンス/コロネット)



ケースバックから鑑賞できるムーブメントは、シリコン製ヒゲゼンマイと非磁性体の部品を採用。磁気を発するデジタル機器に囲まれた環境でも、安心して着用できる

LONGINES

70周年を迎えた〈ロンジン〉の代表作。

名作時計で刻む時を大切な人とシェア。

大切な人とともに過ごす“時”を、手元のお洒落を通して共有できるペアウォッチ。もしその時計が長年にわたって愛されている名作なら、きっとそれは特別な体験をシェアすることに繋がるに違いない。

70周年を迎えた今なお色褪せない魅力を放ち続ける〈ロンジン〉の名作“コンクエスト”で、その楽しさを享受してみたい。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順

文=遠藤 匠 構成=大嶋慧子

photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (CaVN)

hair&make-up: Jun Matsumoto

text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima



CONQUEST

[コンクエスト]

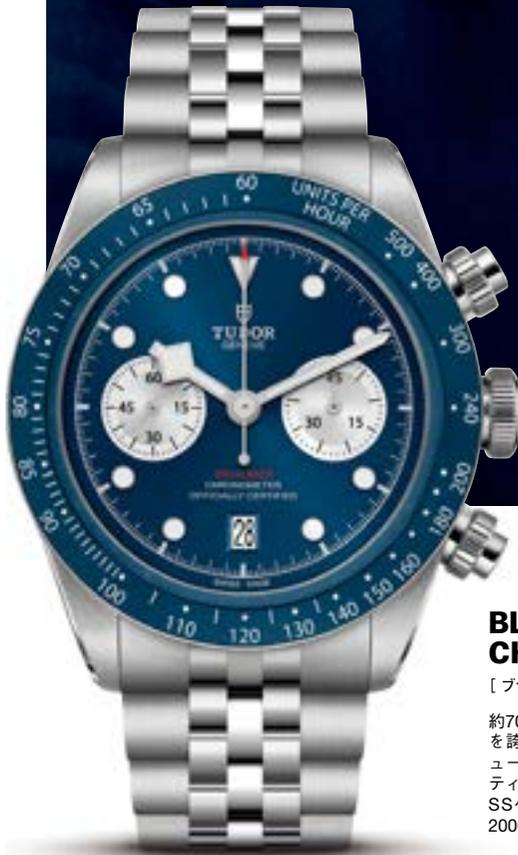
右:女性の華奢な手首にも美しく映える、30mmモデルも新たにラインナップ。ケース径30mm、自動巻き、SS ケース&ブレス、10気圧防水。40万2600円 左:3時、9時、12時位置のアワーマーカー、ロジウムカラーの時分針にはスーパーブルーを塗布し、昼夜を問わず高い視認性を実現。ケース径38mm、自動巻き、SS ケース&ブレス、10気圧防水。32万1000円(以上ロンジン/スウォッチ グループ ジャパン)

©スウォッチ グループ ジャパン ☎03-6254-7350 www.longines.com

※モデル着用アパレル商品のお問い合わせ先/コロネット(カナリー、ムーレー) ☎03-5216-6521、コロネット(ヴィンス) ☎03-5216-6516 ロウタスカスタマーサービス ☎03-6231-0897



TUDOR



BLACK BAY CHRONO "BLUE"

[ブラックベイクロノ「ブルー」]

約70時間のパワーリザーブと高耐磁性を誇る、COSC認定のマニファクチュールキャリバー-MT5813を搭載。ブティック限定。ケース径41mm、自動巻き、SSケース & プレス、200m防水。79万2000円(日本ロレックス/チューダー)

〈チューダー〉の傑作にブティック限定カラーが登場。

特別なブルーが大人の 手元に気品を添える。

インテリジェンスと気高さが漂う深いブルー時計は、品格を携えた大人の定番。
〈チューダー〉の新作もその例に漏れず、ブランドのマスターピース「ブラックベイ クロノ」をブルーで彩った。同モデルでは初めてのカラーであり、さらにはブティック限定。特別感をまとう1本にアップデートされている。

構成 & 文 = 池上隆太

composition & text : Ryuta Ikegami (AM5:00)



右:5列リングブレスレットにはブランド独自の「T-フィット」アジャストシステムを搭載。工具不要で長さを5段階調節することができる 左:1969年に発売されたダイバーズで初お目見えした「スノーフレイク針」。以来、〈チューダー〉のダイバーズを象徴するディテールとなっているが、新作にももちろん採用されている。9時位置のスマセコ、3時位置の45分積算カウンターのシルバーが深いブルーと美しいコントラストを作り出す

ブランドのアイコン的立ち位置を担う「ブラックベイ クロノ」。そのルーツは1970年に発売した〈チューダー〉初のクロノグラフモデルと1954年に発売されたはじめてのダイバーズウォッチ。ふたつの意匠を踏襲し、水陸の融合を果たしたモデルだ。2017年に誕生して以来、ハイブリッドさと大胆なデザインが時計好きの心を掴んでいる。今回リリースされた新色は、知性や落

ち着き、また高貴な印象を与えるといわれるブルー。まさにリーダーの腕にふさわしいカラーといえるだろう。通常の「ブラックベイ」や「ペラゴス FXD」でもよくラインナップされる〈チューダー〉の伝統色ではあるが、実は「ブラックベイ クロノ」では今回が初となる。さらに販売はブティック限定と特別づくめ。こんな類まれな1本を身につけることが、自身の格をより高めることに繋がるのではないだろうか。

Distinguished Winter Pool HEAVENS*

水温30℃の快適な温水プールに浸かりながら、雄大な東シナ海を愛でる贅沢。ハレクラニ沖縄の初の試みだ

凜とした冬空のもとで過ごす温もりのプールリゾート

プールは夏だけのもの。そう思っていたら、もったいない。ほどよく温められたプールはまるで温泉気分。併設されたサウナも、冬は外気浴がことさら気持ちいい。おまけに澄んだ空気が景色の美しさを倍増させる。冬のホットプール、新しい楽しみ方だ

text: Chieko Koseki 文=古関千恵子

01 温水プールに浸かりながら水平線に沈むサンセットを

HALEKULANI OKINAWA

[ハレクラニ沖縄]



ハレクラニ沖縄のこの冬の新体験「エターナルウインタープール」(12月1日～3月15日、1名1万円、1回2時間、完全予約制)。サンセットウイングの「オーシャンテラスプール」を水温30℃の温水仕様にし、冬の沖縄のリゾートステイを楽しんでもらおうというもの。日中はインフィニティエッジの先の水平線を、夕刻には雄大なサンセットを、心地いいプールやジェットバスに浸かりながら満喫することができる。プールサイドにはカバナ(1組3名まで)を完備し、プライベートな空間も確保。ハレクラニ沖縄特製のウェルカムドリンクのサービス付きだ。

また、ハレクラニのシンボル「オーキッドプール」では毎年恒例の「ヘブンリー・テントサウナ」を開催(12月15日～2月15日、1回1時間30分、1名7000円)。海を望むテント型サウナは最大2名までのカップル仕様。テント内はアロマ水でやさしい香りのスチームで満たされている。このシーズン、オーキッドプールはサウナのゲスト限定で利用。プールで爽やかにクールダウンできる。はちみつと柑橘系のフルーツ、沖縄の塩で調えたサウナドリンクも用意。貸し切りもでき、あのオーキッドプールを独占できるチャンス!?

冬の沖縄でも、スーツケースに水着を忘れずに(水着レンタルもあり)。



A: プライベートプールや天然温泉を備えた、贅沢なハレクラニ クリフヴィラ。客室によっては、「エターナルウインタープール」を楽しめる宿泊プランも B: オーキッドプールのサイドにサウナテントが登場。1テントにつき2名が利用可 C: 温水プールで供されるたんかんを使ったウェルカムドリンク

DATA

④沖縄県国頭郡恩納村名嘉真1967-1
☎098-953-8600
<https://www.okinawa.halekulani.com/>

トピカルな植物に囲まれ、どこか海外のビーチクラブのよう。宿泊のみだったが、今年からデイユースも



A: 全面ガラス張りのサウナ「スウェットボックス」。室内は100℃以上! B: 広々としたテラスやプライベートプール付きなど、客室は5タイプ21室。シングネチャールームは、海とプールの両方を望むテラスが自慢の「プールテラス」 C: 内房の銀南町に位置し、西向きなので東京湾に太陽が沈む、壮大なサンセットが期待できる

02 エンドレスサマーなホットプール&サウナ体験 BOTANICAL POOL CLUB

[ボタニカル・プール・クラブ]

都 心から70分、千葉・房総半島に位置。300種の異国情緒あふれる植物に包まれた、プール×サウナ×音楽×酒が楽しめる、まるで海外のビーチクラブのようなりゾート。3月31日までは、プールは冬仕様となり、水温も40℃! 彼女と2人、ぬくぬくとプールに浸かりながら、東京湾越しの富士山が愛でられる。特にサンセット時の茜色の富士山は、冬の澄んだ空気に映える絶景だ。

温水プールに浸かりながら寝ころべる「水上ハンモック」(近日スタート)でくつろぎ、プールサイドではパラソルヒーターや冬仕様の暖かいローブでリラックス。プールサイドバーでは蒸留酒にはちみつやレモンを加えたホットカクテルやチーズフォンデュなどの冬限定メニューもラインナップ。ドリンクはプールへも持ち運ぶことができる。

併設のサウナは、雰囲気異なるものが2種。最大10名まで利用できる「スウェットロッジ」、そして全面ガラス張り南国の植物の緑に憩う「スウェットボックス」。冬限定のアロマ水でセルフフローリュもできる。汗を流した後は凜とした冬の空気の中、外気浴が気持ちいい! 料金は13～22時のデイタイム利用(5時間1名1万5000円～、1デイパスあり)、または宿泊(1室6万2700円～)。

DATA

④千葉県安房郡銀南町下佐久間1510-2
☎0470-29-3425
<https://botanicalpoolclub.com/>

コート41万8000円、ジャケット29万8100円(ともにカナリー/コロネット)、マフラー19万2500円(ムーレー/コロネット)、その他はスタイリスト私物

roberto cavalli BY FRANCK MULLER

天才時計師がモードの天才とタッグを組んだ〈ロベルト カヴァリ バイ フランクミュラー〉の新作。

年末はトノー型時計で手元に華やかさと個性を。

シックなコートに身を包んだなら、手元は華やかな時計で彩りを加えたい。精緻な機構と美しいデザインを併せ持つ時計は数あれど、天才時計師とファッション界の鬼才が生んだコレクション〈ロベルト カヴァリ バイ フランクミュラー〉は、群を抜く存在感を放つ。唯一無二の個性と品格の融合。年末は、そんな気分の上がる時計と特別な時間を。

写真=野口貴司、正重智生 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 恵 文=長谷川茂雄 構成=大嶋慧子
photo: Takashi Noguchi, Tomoo Syoju (BOIL) styling: Kan Nakagawara (CaVN)
hair&make-up: Megumi Matsumoto text: Shigeo Hasegawa composition: Keiko Oshima

モデル着用

コート

ートを羽織る季節は、小物アレンジを楽しむのが醍醐味。なかでも時計選びは、スタイルを左右する重要なポイントになる。とはいえ、過剰に華美なものは時にフル目立ちすぎるし、クラシックなドレス時計は、インパクトに欠ける場合も。だから冬こそ適度に華やかさと落ち着きというふたつの相反する魅力を持つ時計が欲しくなる。そんな思いを叶えるなら、「ブレゲ以来の天才時計師」と称されたフランク・ミュラーと、世界中のセレブを虜にしてきたデザイナー、ロベルト・カヴァリのコラボで生まれた〈ロベルト カヴァリ バイ フランクミュラー〉の新作が最適解だ。アイコン的なトノー型ケースには、ビスを配したベゼル、部分的にスケルトン仕様となったダイヤルなど、まさに個性とモダンなアイデアがバランスよく集約。コートの手元から覗いた瞬間、視線を釘付けにするのは間違いない。

ROBERTO CAVALLI by FRANCK MULLER RV1G248

[ロベルト カヴァリ バイ フランク ミュラー RV1G248]

美しい曲線を採用したトノー型ケースは、傑作として知られる「トノウカーベックス」を想起させる。部分的にスケルトン仕様になったダイヤル、レザーとラバーを貼り合わせたストラップなど、上品かつ大胆なアプローチが目玉を引く。ケースサイズ48×40mm、自動巻き、SSケース、ストラップはレザー(表) & ラバー(裏)、5気圧防水、上・下左:30万2500円、下右:31万3500円(ロベルト カヴァリ バイ フランクミュラー/ミスズ)



It's a New Watch Lovers Paradise.

珠玉の1本と出会える場所。

進化を遂げた〈大丸心齋橋店〉 本館6階時計売場を完全ガイド。

〈大丸心齋橋店〉本館6階の時計売場が、この秋、華麗なる進化を遂げた。マニファクチュールの技術が光る名門ブランドから信頼の日本ブランドまで、珠玉の逸品が集結する。時計ファン垂涎の老舗ブランドの売場拡大や、関西初出店のブランドなど直営ブティックが充実。日本初の提案型コンセプトショップ〈ラグジュアリー タイムラウンジ〉も見逃せない。さらに、〈グランドセイコー〉をはじめ国産ブランドも拡充。クラシックからモダンまで圧巻のラインナップを誇る新たなる時計の楽園で、あなただけの逸品との出会いを。

構成 & 文=山口幸一

composition&text : Koichi Yamaguchi



JAEGER-LECOULTRE
[ジャガー・ルクルト]



VACHERON CONSTANTIN
[ヴァシュロン・コンスタンタン]



3 ジャパンブランドがさらに充実。

日本の精緻なモノ作りが息づくジャパンブランドが充実したのもポイント。たとえば〈グランドセイコー〉の新しい世界観を体現するサロンがリニューアル。〈カシオウォッチプレミアムショップ〉も百貨店最大級の規模となって大幅に進化。ほかのジャパンブランドも豊富に取り揃え、国産時計の魅力を存分に堪能できる場所に。



CASIO
[カシオ]



GRAND SEIKO
[グランドセイコー]



GERALD CHARLES
[ジェラルド・チャールズ]



ROGER DUBUIS
[ロジェ・デュバイ]

2 稀代の逸品と出会える場所に。

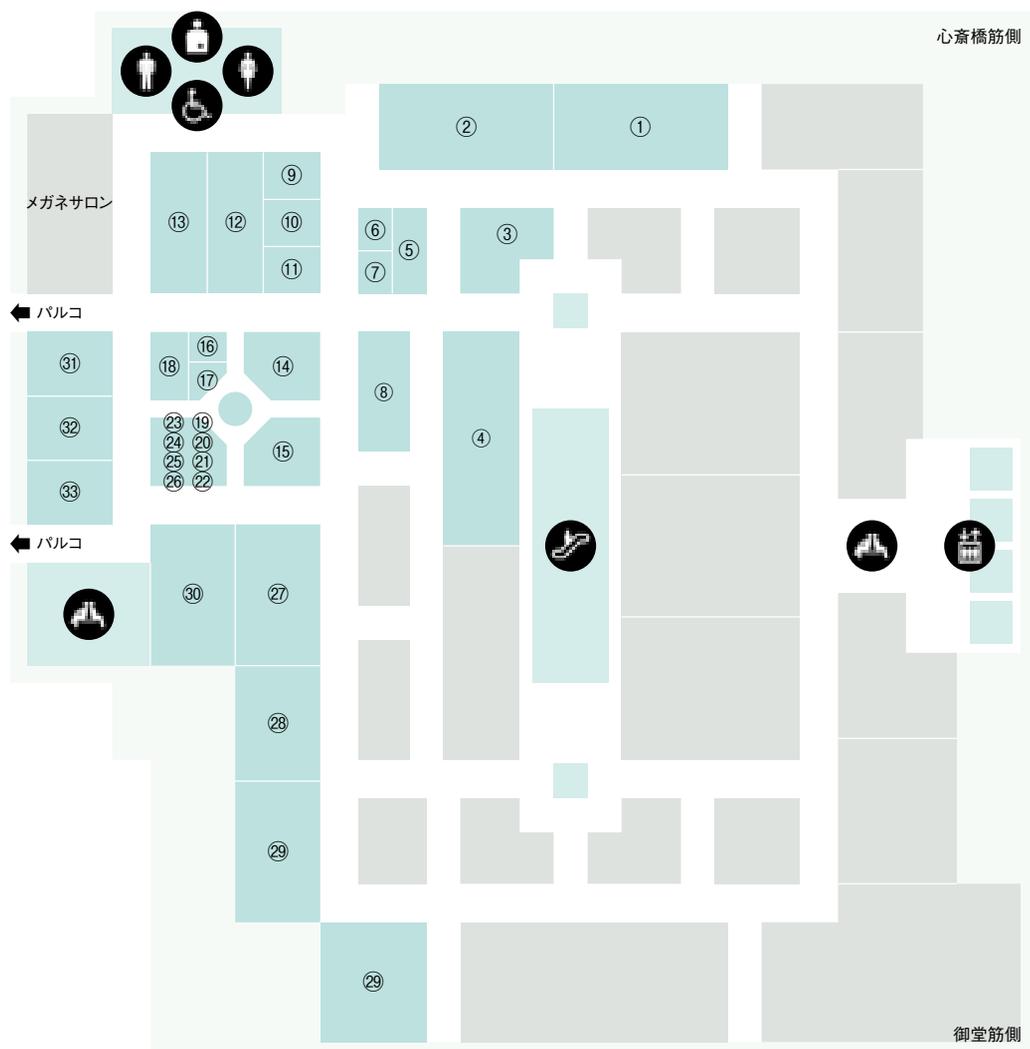
進化した時計売場は、ここにしかない逸品の宝庫でもある。たとえば日本初登場のコンセプトショップ〈ラグジュアリー タイムラウンジ〉で展開の〈ジェラルド・チャールズ〉や関西初上陸となるフランスのストラップブランド〈ジャン・ルソー・パリ〉。さらに現在4店舗しかない〈ロジェ・デュバイ〉のブティックも。まさに稀代の逸品と出会える場所だ。

1

より深く豊かなブランド体験が可能に。

進化を遂げた〈大丸心斎橋店〉本館6階時計売場。注目はブティックの充実ぶりだ。〈ヴァシュロン・コンスタンタン〉はスペースを拡大。またすべてのタイムピースを自身の工場内で設計から製造まで行う唯一のマニュファクチュールの〈ジャガー・ルクルト〉、イタリアのデザインとスイスの時計製造技術を融合した唯一無二のコレクションをお届けする〈パネライ〉も圧倒的な品揃えで新たにブティックとして登場する。

WATCH AREA GUIDE



- ①パネライ
- ②ジャガー・ルクルト
- ③ジャン・ルソー・パリ
- ④ラグジュアリー タイムラウンジ
- ⑤カール F. プヘラ
- ⑥ハミルトン
- ⑦ティソ
- ⑧カシオウォッチプレミアムショップ
- ⑨ザ・ウォッチアフターケア
- ⑩クロックコーナー
- ⑪ロンジン
- ⑫フランク ミュラー
- ⑬グランドセイコー
- ⑭セイコーウォッチサロン
- ⑮シチズンコンセプトショップ
- ⑯セイコー
- ⑰オリエントスター
- ⑱クレドール
- ⑲センチリー
- ⑳ボーム&メルシエ
- ㉑モーリスラクロア
- ㉒クストス
- ㉓クロノスイス
- ㉔レイモンド・ウエイル
- ㉕コルム
- ㉖ユリス・ナルダン
- ㉗パテックフィリップ
- ㉘ブレゲ
- ㉙ヴァシュロン・コンスタンタン
- ㉚ハリー・ウィンストン
- ㉛ジラルール・ベルゴ
- ㉜パルミジャーニ・フルリエ
- ㉝ロジェ・デュバイ





年末年始の気分をアップする珠玉のアイテムたち。 ホリデーシーズンは贅沢アイテムで パートナーも自分も幸せに。

パートナーへのプレゼントや自分へのご褒美など、ギフトを選ぶ機会が多い年末年始。せっかくなら、ホリデーシーズンの華やいだムードにふさわしい、いつもより特別で贅沢なものを選びたい。今年の疲れを癒し、新年への活力になるような、ラグジュアリー感たっぷりのアイテムで、ハッピー気分を盛り上げてみては？

文=前田聡美 構成=大嶋慧子 text: Satomi Maeda composition: Keiko Oshima

ソフトペブルグレンレザーの小型カメラバッグ。裏地の素材にはリサイクルナイロンを混紡した生地を採用。W22.5×H17.5×D6.5cm。21万5600円(トム ブラウン/トム ブラウン 青山)



1 THOM BROWNE

【トム ブラウン】

トリコロールカラーが効いた 洒脱なレザーアイテム。

ニューヨーク発のブランドらしく、洗練された大人のアメトラススタイルを牽引する〈トム ブラウン〉。上質なレザーを使ったバッグやシューズは、どれもすっきりとシンプルなデザイン。それでいて、アイコン的なトリコロールカラーをさりげなく効かせており、ホリデー気分が盛り上がること請け合い。自分へのご褒美アイテムにいかが？



カーフレザーの白スニーカー“ドレーナー”。アイレットやヒールタブなどに、トリコロールカラーを取り入れ、小粋な表情を添えている。8万8000円(トム ブラウン/トム ブラウン 青山)

3

MANOLO BLAHNIK

【マノロ ブラニク】

セレブもこよなく愛する タイムレスなシューズ。

名だたるブランドのランウェイにシューズを提供し、ファッションistaやセレブを虜にした〈マノロ ブラニク〉。レディースの華奢なピンヒールのイメージが強いけれど、優美なデザインはそのままに、快適な履き心地のドレスシューズやブーツも豊富。メンズ、レディースともに年末年始の外出を、足元からエレガントに魅せてくれること請け合い。



上右:カーフレザーのレースアップシューズ。アウトソールはタフなラバー製で、歩きやすさも抜群。16万6100円 上左:ブランドの代名詞的なレディースのミュール、“メイセール”のベルベットブーツ。ヒール高さ5cm。24万4200円 下:カーフレザー製アングルブーツ。伸縮性のある中敷きで、快適な履き心地を実現。15万8400円(以上マノロ ブラニク/ブルーベル・ジャパン)

2 CHOPARD

【ショパール】

思わず笑顔がこぼれる “ハッピーハート”コレクション。

時計の製造からスタートした〈ショパール〉は、現在ではラグジュアリーなジュエリーメゾンとしても知られる。愛のシンボルであるハートに、キラキラと回転するムービングダイヤモンドを組み合わせた“ハッピーハート”コレクションは、メゾンを象徴する存在。ダブル使いのハートモチーフが、大切な人への愛を込めたギフトにぴったり。

“ハッピーハート”コレクションの中でも、繊細な輝きと品のよさが際立つ18KYGとマザーオブパールハートモチーフのジュエリー。ゴールドは100%エシカルに生産されたものを使用している。ハートの中でダイヤモンドが揺れる“ムービングダイヤモンド”が、さらなる贅沢な煌めきを加速。上:バングル50万5000円 中:ソートワールネックレス146万3000円 下:ピアス55万5500円(以上ショパール/ショパール ジャパン プレス)



4 DUNHILL

【ダンヒル】

英国テイラーリングの伝統を現代的にブラッシュアップ。

今期の〈ダンヒル〉は、ロンドン発祥の紳士服ブランドらしく品格漂うジャケットが充実。レザーやカシミアなど贅沢な素材を使い、伝統的な英国テイラーリングにスポーティで新鮮な表情を加えることで、オリジナルのクラシカルモダンなスタイルを体現。ホリデーシーズンにふさわしい、特別感のある1着がきっと見つかるはず。

左上:アイルランド産のドネガルとスコットランドのカシミアを撚り合わせた、独自の生地を使用。レザーのPATCHポケットがリッチなアクセント。43万5600円 左下:ソフトなラムスキンのドライビングジャケット。ウエストのベルトを絞って、メリハリのある着こなしを楽しみたい。92万700円 右:バージンウールとカシミアを贅沢に使った、ダブルジャケット。軽やかな着心地と、シャープですっきりとしたシルエットが特徴。33万8800円(以上ダンヒル)

上:たっぷりダイヤモンドをあしらった、K18YGのバックルがリッチな存在感を演出。チェーンブレスレット463万1000円 右下:“フォース10”を象徴する、バックルモチーフに885個ものダイヤモンドをあしらった豪華なネックレス。834万9000円 左下:こちらもバックルモチーフを連ねたデザイン。K18YGのブレスレット。328万9000円(以上フレッド/フレッドカスタマーサービス)

6 JIMMY CHOO

【ジミー チュウ】

グリッターな足元が日常に特別感を添える。

卓越したクラフトマンシップと、繊細で遊びのあるコレクションを展開するラグジュアリーブランド。そんな〈ジミーチュウ〉からは、ホリデーシーズンにふさわしく、グリッターな煌めきをまとったドレスシューズやスニーカーが登場。ブランドのアイコンのひとつである“ダイヤモンド”にインスピレーションをうけた新作バッグも見逃せない。



上:上品な光沢が魅力のソフトカーフ素材を、マチの広いデザインに仕立てたトートバッグ。W40×D18×H35cm。29万4800円 中:爽やかな白スニーカーに、白〜シルバーのグラデーションソールで、華やかな印象に。12万3200円 下:きらびやかなラメ入りモールド素材のドレスシューズは、パーティの相棒としても最適。アッパーのタッセルが、アクセント。14万9600円(以上ジミーチュウ)



5 FRED

【フレッド】

男女問わず愛され続ける一生モノのジュエリー。

普遍的で独創性あふれるジュエリーを次々と発表してきた〈フレッド〉。そのモダンなデザインと輝きで人々を魅了してきた“フォース10”コレクションは、創業者フレッド・サミュエルも嗜んだ、セーリングがインスピレーションのもと。ヨットのケーブルとシャクルをモチーフとしたデザインは、ユニセックスに使用できると人気が高い。

Mercedes-Maybach

100年の歴史が導く、最高峰EVの新境地。

〈メルセデス・マイバッハ〉が魅せる 電動化時代の究極のラグジュアリー。

メルセデスの最高級ブランド〈メルセデス・マイバッハ〉が放つ初のEV(電気自動車)EQS 680 SUV。比類なき静寂性と贅を尽くしたクラフトマンシップ、そして最新のテクノロジーを纏った次世代のスーパーラグジュアリーが、日常という時間に類い稀なる価値を創出する。

文 & 構成=山口幸一 text&composition : Koichi Yamaguchi



ファーストクラスパッケージ(オプション)のリヤシート。格調高きダイヤモンドステッチのナッパレザーシートと、艶やかなウッドパネルのセンターコンソールが、モダンかつラグジュアリーな雰囲気創出

革新のテクノロジーと匠の技が導く、至高の移動体験

サステナビリティへの取り組みが、ラグジュアリーブランドの新たな指標となっている現在。再生可能エネルギーの活用を加速するグッチ、サーキュラーエコノミーの実現を目指すルイ・ヴィトンなど、ファッション界では環境配慮型の革新が一般的だ。その潮流はラグジュアリーカーの世界でも広がりを見せている。〈メルセデス・マイバッハ〉唯一のEVであるEQS 680 SUV。同車は、高級車の新たなスタンダードとなる1台だ。

今、世界中の富裕層を魅了しているラグジュアリーSUVにおいて、完全電動化による環境性能と比類なき贅沢さを両立させているのはEQS 680 SUVだ。環境との共生という時代の要請に応えつつ、揺るぎないラグジュアリーを追求する同車は、次世代の高級車の姿を体現している。

20世紀初頭、天才エンジニアとして名

を馳せ、ダイムラー社の技術責任者としてメルセデスの礎を築いたヴィルヘルム・マイバッハ。1909年に彼が設立したマイバッハは、幾多の変遷を経て2012年、メルセデスのサブブランド〈メルセデス・マイバッハ〉として新たな歴史を刻みはじめた。創設者が追求した「革新的創造性と比類なき上質感」は、最新モデルでさらなる高みへと昇華した。空力特性を最適化した流麗なフォルムに縦型のエレガントなフロントグリル、随所にちりばめられたクロームの装飾といった要素が、マイバッハならではの気品と威厳を醸し出している。

EQS 680 SUVはEV専用のプラットフォームを採用することで、従来のエンジン車では叶わなかった革新的な空間設計を実現。エンジンルームを最小限に抑えることで実現した広大な室内は、プライベートジェットのカabinのような心地よさに満ちて

いる。インテリアは贅沢に使用された上質なナッパレザーとアルカンターラがラグジュアリーな空間を創出。ナッパレザーはなめし材の原料に再生素材を用いるなど、環境への配慮も忘れない。

一方、ダッシュボードを覆うシームレスな曲面ディスプレイ、MBUXハイパースクリーンが先進的な雰囲気を醸し出す。後席には電動リクライニング機能を備えたエグゼクティブシートを標準装備し、シートマッサージ、ヒーター、ベンチレーション機能も完備。MBUXリアエンターテインメントシステムが、移動時間をさらなる楽しみへと昇華させる。さらにEVならではの圧倒的な静寂性は、忙しい日々の合間に訪れる移動時間を、特別な寛ぎの時間へと変えてくれるのだ。

特筆すべきは、床下に配置されたバッテリーがもたらす走りの実力だ。低重心による抜群の安定感とアクセルを踏んだ瞬間

に体感できる圧倒的な加速は、オーナー自身がハンドルを握る喜びを与えてくれる。週末は自らドライブを愉しみ、平日はショーファーに運転を任せ、ゆったりとした後席に身を委ねる。そんな贅沢な使い分けも、このクルマならではの楽しみ方だろう。

「最高のものから最高のものを生み出す」。ヴィルヘルム・マイバッハが掲げたこの理念は、電動化の時代を迎えた今、より深い輝きを放つ。環境との調和と最上級のラグジュアリーとの両立——彼の先見性は、むしろ現代において、その真価を発揮しているのだ。

EQS 680 SUVにおける環境への配慮と贅を尽くしたクラフトマンシップの融合は、新時代のラグジュアリーの在り方を示している。その選択は、なに気ない日常さえも特別な時間へと変えてくれること間違いなしだ。



マイバッハならではの堂々たるエクステリア。縦型の特徴的なフロントグリルと流麗なボディラインが調和し、威厳と優美さを兼ね備えた佇まいを演出している。

※写真の仕様・装備は、日本仕様と異なる場合があります。また、半導体供給不足に伴う生産制約によって、仕様・装備・メーカー希望小売価格が変更になる場合があります。選択できるオプションにつきましては、事前にメルセデス・ベンツ正規販売店にお問い合わせください。

Information



〈メルセデス ミー 大阪〉のTRIAL CRUISEで体験するマイバッハの真価

〈メルセデス ミー 大阪〉では、EQS 680 SUVをはじめ、メルセデスの各モデルの試乗プログラム TRIAL CRUISEを実施中。専属のプロダクトエキスパートのサポートにより、マイバッハならではの比類なき走りをご堪能いただけます。

TRIAL CRUISE



A: 気品あふれるツートーンカラーが印象的なリヤビュー。LEDテールランプが描くラインが夜間の存在感を際立たせ、リヤエンドの(MAYBACH)の文字が比類なき上質さを静かに主張している B: ドライバーの目には、シームレスに一体化されたMBUXハイパースクリーンが広がる。直感的なインターフェイスにより、複雑な機能をシンプルに使いこなせる

Mercedes-Maybach EQS 680 SUV

[メルセデス・マイバッハ EQS 680 SUV]

●全長×全幅×全高:5135×2035×1725mm ●ホイールベース:3210mm ●車両重量:3050kg ●最高出力:484kW(658PS)
●最大トルク:955Nm ●駆動方式:4WD(四輪駆動) ●定員:5名(ファーストクラスパッケージは4名) ●メーカー希望小売価格:2790万円～

※メーカー希望小売価格は、付属品価格、税金(消費税を除く)、保険料、登録に伴う諸費用を含まない車両本体価格です。また、「自動車リサイクル法」に基づく、リサイクル料金が別途必要となります。メーカー希望小売価格は参考価格です。価格は販売店が独自に定めておりますので、詳しくは各販売店にお問い合わせ下さい。


ORIENT STAR

M34

F8 Skeleton
Limited Edition



深宇宙がここにある

RK-AZ0103L ¥396,000 (¥360,000+税)

※価格はメーカー希望価格であり、実際の価格は取り扱い販売店でご確認ください。

オリエントお客様相談室 042-847-3380 (受付時間：平日 9:00 ~ 17:00)

URL : <https://www.orient-watch.jp/>

※この広告に記載の価格および仕様、デザインは 2024 年 10 月現在のものです。



エプソン販売株式会社 セイコーエプソン株式会社

Gastronomic City

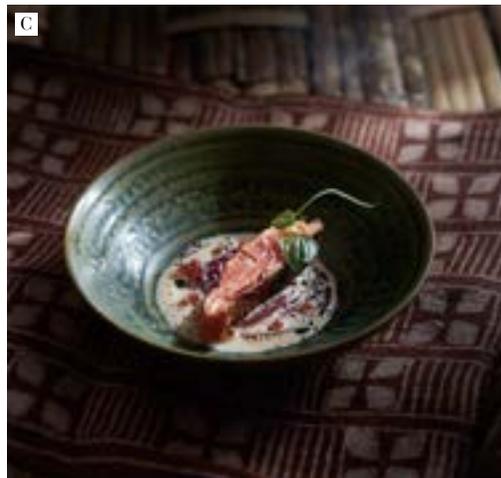
Hanoi*



アジアの美食新興都市として脚光を浴びるベトナム・ハノイ。

今、アジアの美食シーンで最も注目されている街のひとつがハノイである。ローカル食だけでなく、近年は世界のフーディを唸らせる店が続々と誕生。なかでも、ハノイ旧市街にオープンした〈CHAPTER〉はその火つけ役である。

取材・文＝中村孝則 text: Takanori Nakamura



A: ハノイ郊外の森をイメージした一皿。オイスターマッシュルームの煮込み、シメジの酢漬、シイタケのソテー、エノキ茸の天ぷらなど5種類の茸を5種類の調理法で仕上げる B: 和牛をタイの伝統料理「トラウ・ガック・ベップ」の調味料でマリネし、日本のたたく技法で仕上げた前菜 C: トラウトをバナナの葉で包み、薪火で蒸し焼きにソースで仕上げた定番料理 D: ハノイ旧市街の喧騒の中とは思えないモダンなダイニング E: 今ハノイで最も注目される若手シェフ、クアン・ドゥン氏 F: 店の1階は薪火のオープンキッチン

DATA

CHAPTER [チャプター]

①12C Chan Cam Street, Hang Trong Ward,
Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam
☎+84-333-201-221 <https://chapterhanoi.com/>

今 夏、久しぶりにベトナム・ハノイのレストランを巡って驚いた。数年前までには存在しなかった、ガストロノミー系のレストランが誕生しているからだ。そもそも、ハノイは食の多彩な街である。豊かな食材や食文化を背景にしたローカルフードの屋台は街の風物詩。つけ麺の「ブンチャー」や白身魚の揚げ焼きを使った「チャーカー」、フランス統治の影響をうけたフランスパンのサンドイッチ「バインミー」などの名物料理は、筆者も大好きだ。

ところが、アフターコロナで8%を超える経済成長の好景気を背景に、食のシーンも変貌しつつある。2023年にミシュラン初となるベトナム版が出来たこともあり、多様なスタイルの高級店が登場している。その筆頭の店が、今回ご紹介する〈チャプター(CHAPTER)〉だ。

この店は、ハノイ出身のクアン・ドゥン(Quang Dung)シェフが、ハノイ旧市街に2021年に立ち上げた。クアン氏は英国の大学で学び銀行家としてキャリアをスタートさせたエリートだが、食の世界に魅せられシェフに転身。23年のミシュランガイドでセレクトされ一躍脚光を浴びている。まず店そのものの雰囲気が面白い。ハノイ旧市街の中心地の雑然とした街並みの中に、まるで隠れ家のようにひっそり佇むが、中は別世界。オープンキッチンのある1階は薪台が鎮座し、薪火焼きの香ばしい匂いでゲストを誘う。2階3階はまるでギャラリーのような雰囲気のダイニングで味わう趣向である。

料理は十数皿のコースで構成され、ハノイ近郊に伝わるローカルな食文化を再解釈した、ユニークかつモダンな料理の数々が供される。特筆すべきは、調理法に

プリミティブな薪火焼きをメインとしていることだ。クアン氏は、ベトナムの少数民族の村々を訪ねては、伝統的な調理法にそのヒントを得たというが、薪火で焼いたサンドイッチロールや竹串焼きや竹筒焼き、あるいは素材を土で覆う、蓮やバナナの葉で包み焼くなど、ユニークなバリエーションで調理する。そこにベトナムらしいハーブや調味料の風味が重なりエキゾチックでありながら、どこか懐かしい旨さを引き出すのだ。

食材は、ハノイ周辺の伝統のものを中心に、キジや鳩やアヒルなども登場し、食マニアを唸らせる。それでいて、どこかヨーロッパ的なモダンな風味に仕上がるのは、クアン氏が学生時代に過ごした英国の影響もあるのだろう。いずれにせよ、この店でしか体感できない独自の風味を是非味わってほしい。



取材・文 中村孝則 美食評論家

1964年神奈川県葉山生まれ。ファッションからカルチャー、美食などをテーマに新聞や雑誌、テレビで活動中。主な著書に『名店レシポの巡礼修業』(世界文化社)がある。2013年より『世界ベストレストラン50』の日本評議委員長も務める。22年春、JR九州が運行する「ななつ星in九州」の車内誌の編集長に就任。

AOURE

軽やかかつスタイリッシュな〈アウル〉の新作。

見た目と着心地が両立した
1枚仕立ての快適コート。

アウターを買い足したくなるこの季節。暖冬になるのかはたまたま寒くなるのか？ そんな迷いが生じたときに選びたいのが〈アウル〉の新作コート。シルクやカシミアにならぶ極細の繊維、“ウールリバー”を使用することによって、裏地なしでも暖かさをしっかりキープ。着心地もよく使い勝手のよい1着は、スーツの上に羽織るのもいい。

写真=野口貴司、丸益功紀 スタイルング=浅井秀規

ヘア&メイク=松本 恵 構成&文=大嶋慧子

photo : Takashi Noguchi, Koki Marueki (BOIL) styling : Hidenori Asai
hair&make-up : Megumi Matsumoto composition&text : Keiko Oshima



WOOL REVER GIACCONE

[ウールリバー ジャッコネ]

ジャケットのように羽織れる
1枚仕立ての新感覚コート。

ダブルのジャケットのような感覚で羽織れるコート。長すぎず短すぎない適度な丈は、軽快でオンオフどちらにも使えて、スラックスからデニムまで、様々なボトムとも相性がよい1着。裏地がなく、ややゆとりのあるサイズ感なので、インナーに厚手のニットを選んでもすっきり見える。各4万7300円(以上アウル)

モックネックニット
2万900円、パンツ1
万9800円(以上アウ
ール)、その他はスタ
イリスト私物

ジェットセッターが飛行機を降りてそのまま打ち合わせに行けるような、上品かつ快適なセットアップが大ヒットした〈アウル〉。理想的なシルエットや、シワになりにくいのにアクティブに動けるアイテムが豊富で、いまやビジネスマンのマストハブブランドだ。そんなユーザーからの、使い勝手のいいコートが欲しいというリクエストから生まれたのがこちらの2着。暖冬にも寒い日にも対応でき、着心地がよく軽い。そんな理想的なコートを作るにあたって、〈アウル〉が採用した素材が“ウールリバー”。極細の繊維を使い、日本産地で織り上げた1着だ。1枚仕立てでやや余裕のあるシルエットなので、厚手のニットやスーツの上に羽織ってもすっきり見える。上質なウールのもつ艶感やハリ感も備えているので、見た目も上品。デザイン違いで2パターンあるので、用途によって使い分けるのがおすすめだ。

クルーネックニット2万900円、パンツ2万9700円(以上アウル)、モバイルバッグ2万9700円(MCFC/アウル)、スニーカー2万2000円(デバイス1/アウル)、その他はスタイリスト私物



WOOL REVER DOUBLE BREASTED COAT

[ウールリバー ダブルブレストッド コート]

“ウールリバー”ならではのゆったりした包み込まれるような感触を満喫。

右ページと同じ“ウールリバー”素材の1枚仕立て。ややAラインのゆったりしたシルエットとラグランスリーブで、スーツの上に羽織っても動きを妨げることがない。カジュアルなニットに合わせれば、ゆったりしたラフ感が楽しめる。見た目にはほんのり上品な光沢感があるのもこの素材ならではの。各5万8300円(以上アウル)

SHOP LIST

アウル阪急メンズ大阪 ☎06-6313-9889
アウル阪急メンズ東京 ☎03-6252-5480
アウル大丸東京 ☎050-1782-8428
アウルジェイアール名古屋タカシマヤ ☎052-566-3979
アウル博多阪急 ☎092-419-5639
アウル大丸札幌 ☎011-206-8525

特別な日に求められる“華”を煌めくベルベットで演出。

エレガントな光沢を放つ、ベルベット仕立てのタキシードジャケットとのセットアップ。熱圧着によってちりばめたラインストーンが光が当たる角度によって美しく輝き、着こなしに華を添えてくれる。加えて、シルキーなライニングを施しているのも嬉しいポイント。動きやすく、身体が優しく包み込まれるような着心地を享受できるので、晴れ場で過ごす一夜も終始、優雅で余裕を感じさせる笑顔を浮かべていられるに違いない。

男:ジャケット97万9000円、シャツ17万3800円、ネクタイオーダー価格5万2800円～、パンツ24万2000円、コート97万9000円(以上ジョルジオアルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン) 女:コート参考価格209万円、ドレス242万円、イヤリング参考価格33万円、バッグ24万2000円(以上ジョルジオ アルマーニ/ジョルジオ アルマーニ ジャパン)

**GIORGIO
ARMANI**

晴れの日立ちふるまいも一流に。

リーダーにふさわしい 一級品のタキシード。

リーダーともなれば、晴れの日立ちふるまいにも自信をもっていたいもの。その着こなしで特別なときにふさわしい華やかさを印象づけ、いつも以上にお洒落をしたパートナーも引き立ててあげたい。そこで頼りになるのが、世界のリーダーが信頼を寄せる一流ブランドのタキシード。一流の装いと立ちふるまいで、パーティシーズンを楽しもう。

写真=野口貴司 スタイリング=中川原 寛 ヘア&メイク=松本 順 文=遠藤 匠 構成=大嶋 慧子
photo: Takashi Noguchi styling: Kan Nakagawara (Ca.NN)
hair&make-up: Jun Matsumoto text: Takumi Endo composition: Keiko Oshima

スパンコールのきらびやかさを
味方につけて優雅な佇まいに。

ハリウッドのセレブリティもその質の高さを認める〈ブリオーニ〉のイブニングジャケットから、ビスポークで特別にオーダーできる1着をピックアップ。着る人の身体が美しく引き立つ仕立てのよさに加えて注目したいのが、シルク主体のレイヤード生地。身体を動かすと内側に施したスパンコール刺繍が輝きを放ち、ラグジュアリー感を印象づけてくれる。肩やチェストまわりをたくましく見せるシルエットもまた、リーダーにふさわしい威風堂々とした佇まいだ。

ジャケットオーダー価格115万5000円～、シャツ10万4500円、パンツ30万8000円、蝶ネクタイ3万3000円、ポケットチーフ2万9700円(以上ブリオーニ/ブリオーニ クライアントサービス)、その他はスタイリスト私物

BRIONI



LORO PIANA

ごまかしがきかない正統派のスタイルで“一流”を体現。

〈ロロ・ピアーナ〉のタキシードは、伝統的なテイラーリング技法に倣いながら、現代的なスタイリッシュさを表現した秀作。襟裏へのメルトンの縫い付けやアームホールのライニングといったシルエットや見た目の印象を決定づける要所に手仕事をし、その佇まいの美しさから一流の仕立てを印象づけられる1着に仕上げている。ウエストバンドが付いたパンツのシルエットも、ダブルプレストのジャケットをモダンな印象に導く出色の美しさだ。

男：スーツ112万6400円、シャツ18万8100円、ストール20万6800円、靴16万1700円、帽子26万2900円（以上ロロ・ピアーナ/ロロ・ピアーナジャパン） 女：シャツ71万3900円、パンツ58万3000円、靴13万5300円、帽子15万700円、バッグ48万8400円（以上ロロ・ピアーナ/ロロ・ピアーナジャパン）



TOM FORD

**知る人ぞ知るタキシードの
名手といえば〈トム・フォード〉。**

“オコナー”と名づけられたこのタキシードは、2013年春夏コレクションで登場して以来、絶大な人気を誇る名作。同ブランドで展開するほかのテイラードアイテムと比べ、よりスリムでモダンなシルエットが特徴的で、ナローに仕上げたショールカラーがタキシード特有の華やかさとともにシャープさを印象づけてくれる。ジャケットのウエストは少し高めな位置から絞られ、凛々しく隆起した肩やバストまわりとのコントラストが、美しく際立つ。

男:タキシードスーツ77万円、シャツ12万1000円、蝶ネクタイ3万9600円、スタッズ 参考商品、カフス 参考商品、靴20万9000円(以上トム・フォード/トム・フォード ジャパン)、眼鏡6万5000円(トム・フォード アイウェア/トム・フォード ジャパン) 女:ドレス88万円、プレスレット27万5000円(以上トム・フォード/トム・フォード ジャパン)

50th

MONSIEUR
NICOLE

50th ANNIVERSARY COLLECTION

MONSIEUR NICOLE



OLMETEX STRETCH BONDING DOWN BLOUSON

[オルメテックス ストレッチ
ボンディングダウンブルゾン]

イタリア「オルメテックス社」の高機能PEボンディング素材を使用。ストレッチが効いた素材で、軽量・防水・撥水機能を備えている。700フィルパワーの上質ダウンを使用し、止水ファスナーでミニマルな仕上げに。カラーはライトグレー、チャコール、ネイビー、ブラックの全4色。ダウンブルゾン9万9000円(ムッシュ ニコル エクストラ/ニコル プレスルーム)



こちらはロングタイプ。ヒップまでしっかりと隠れるので防寒は万全。ファスナー付きの大きめなポケットに加え胸にもポケットが。止水ジップのブラックがポイントに。カラーはライトグレーとブラックの全2色。ロングダウンブルゾン11万円(ムッシュ ニコル エクストラ/ニコル プレスルーム)

今

年でブランド創設50周年を迎える〈ムッシュ ニコル〉。その礎となったのは'80年代DCブランドブーム。その隆盛期から現代に至るまで、伝統と品格を継承しながら常にクリエイティブなメンズトレンドを発信してきた。そんな〈ムッシュ ニコル〉が今シーズンのコンセプトにしたテーマが「ネオ モダニズム」。ブランドが長年培ってきたモダンで洗練された感性を生かしながら、新しさも取り入れた。その特徴は今回のダウンブルゾンにも反映されている。一見シンプルなダウンだが、羽織ってみると驚くほど軽くて暖か。防水、撥水機能も備えているので汚れもつきにくく、さらにストレッチ素材なのでアクティブにも動ける。たっぷり入った700フィルパワーの上質ダウンはこの上なく暖かいので、ダウンの下にTシャツというコーデで出かけることも可能。ショートとロングがあるので、是非お好みで。

MONSIEUR NICOLE

50周年を迎えてますます充実した〈ムッシュ ニコル〉。

着るほどに愛着が湧く
ハイエンド素材のダウン。

50年もの長期にわたって支持されてきた〈ムッシュ ニコル〉。日本のビジネスマンのライフスタイルに寄り添いながらも、クラス感や品格にこだわったもの作りは、スーツからカジュアルアイテムまで滞りなく行き届いている。今回のダウンブルゾンもそういったアイテムのひとつ。

休日はもちろんスーツのアウトターとしても大活躍しそうだ。

写真=正重智生 スタイリング=浅井秀規 構成&文=大嶋慧子
photo: Tomoo Syoju (BOIL) styling: Hidenori Asai
composition&text: Keiko Oshima

カットソー2万7500円、グローブ2万2000円、スト
ール2万9700円(以上ムッシュ ニコル エクストラ
/ニコル プレスルーム)、パンツ3万9600円
(ムッシュ ニコル×ソリッド/ニコル プレスル
ーム)、クラッチバッグ4万2900円(ムッシュ ニコ
ル エクストラ×ベッレ モルビダ/ニコル プレ
スルーム)、スニーカー6万4900円(ムッシュ ニコ
ル×ボイルブランシェ/ニコル プレスルーム)



好評
発売中

定価:1760円(税込)

君をさがして

パク・サノ 著 柳 美佐 訳 カバーイラスト: 遠田志帆

韓流 恋愛小説×ミステリー!!

魅力的な隣人女性アランに淡い恋心を抱く学生ソヌ。ある日、アランは娘ヨヌをのこし、忽然と姿を消してしまう。アランが失踪してから10年以上が経過するもアランの行方を追いつけるソヌのもとに、アランそっくりな女性ジアが現れる……。

それぞれの思いと過去の記憶とが複雑に絡み合い、徐々に真相が明らかになっていく…。互いの思いが交錯する複雑な人間模様、ラストに向かってスピード感を増していく展開、そしてどんでん返しの連続が小気味良い韓国発マルチアングルミステリー!

いやあ、すごく面白かったです…!!

めまぐるしく時空が変化する展開に惹きこまれ、
章ごとに主人公が代わり謎が明かされていく物語、

無我夢中で読みました!

——装画家 遠田志帆

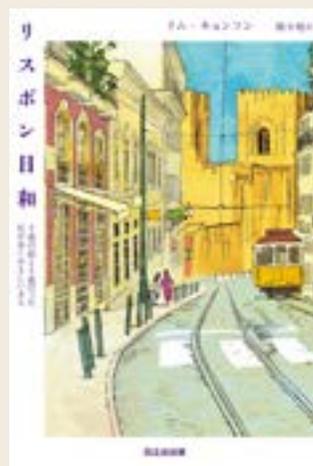
韓国
ベストセラー作家
イム・キヨンソンの本

韓国国内累計
65万部超

好評
発売中

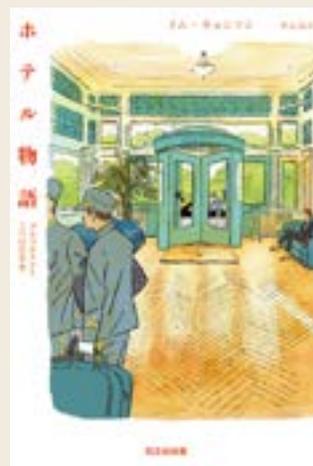


イム・キヨンソン著 熊木勉訳
著者自身が
“最も大切な作品”と位置付ける、
親子の絆を描く珠玉のエッセイ!
不器用であったとしても、私は愛されて
いたということ。そして、私もこれから
私の子を思いきり愛さなければならぬ。
ほかに何を望むことがあろう。
(本文より)



定価:1760円(税込)

リスボン日和
十歳の娘と十歳だった
私が歩くやさしいまち



定価:1760円(税込)

ホテル物語
グラフィックホテルと5つの出来事

イム・キヨンソン著 すんみ訳
半年後に閉館をする、
名門グラフィックホテルでそれぞれの
人生に訪れた“ある時代の終わり”と
向き合った大人のオムニバスドラマ。



ASUKA II

〈飛鳥II〉で過ごす103日の至福の時間。

移動しながらホテルステイ、 憧れの世界一周クルーズへ。

誰もが一度は憧れる世界一周旅行。煩わしい乗り継ぎや待ち時間などもなく、優雅に洋上ステイしている間に目的地に到着……。そんなラグジュアリーな極みといえる旅を日本が誇る豪華客船〈飛鳥II〉で叶えてみてはどうだろう。船上で過ごす最高の時間は、きっと単なる“思い出”以上のなにかを心に残してくれるに違いない。

写真=中村武弘

photo : Takehiro Nakamura



A: 時間や場所によって異なる表情を見せる景色を楽しむデッキ B: 旅の間多くの乗客で賑わうプール。ライブなどのさまざまなイベントが開かれることも C: 船内には世界中どこでもこんな本格的な寿司を楽しめるお店も。(一部の店舗では別途料金が発生します) D: まるでホテルのような客室。写真は“ロイヤルスイート”

子供の頃からの憧れていた「世界一周」を、最高にラグジュアリーな船旅で叶える。それが〈飛鳥II〉の世界一周クルーズだ。日本(横浜・神戸)発着で、シンガポールやケープタウン、バルセロナ、ニューヨークといった都市を103日かけて周遊。もちろん寄港先では自由に過ごしたり、観光ツアーを楽しんだりすることが可能で、世界のさまざまな文化や空気を直接肌で感じることができる。

100日以上を過ごす船内には、複数のレストランや、プール、シアター、劇場、カジノまでさまざまなエンターテインメント施設が用意されており、充実した時を過ごすことができるのも魅力。これは飛行機での旅では味わえない、船旅の最大のメリットだ。実はこの〈飛鳥II〉での世界一周は今回で最後。区間乗船もできるので、約20年にわたる歴史を積み重ねてきたクルーズのフィナーレに思い切って参加してみよう。

1

RLX GOLF

[アール エル エックス ゴルフ]

クラシックでも新しい
アレンジ自在のハーフジップ

伝統的なスコットランド由来のチェック柄をアレンジした柄が目を引き。ボディはブラッシュ加工により、柔らかく着心地も優しい。ハーフジップの開け閉めでインナーの見える分量を調節しながら、首元のコーデが楽しめる。

フリース3万6300円、ジャージ2万6400円、モックネックシャツ2万5300円、パンツ2万6400円、キャップ1万3200円、キャディバッグ6万6000円、DRヘッドカバー1万450円、FW、UTヘッドカバー各7920円、PTヘッドカバー9350円(以上アール エル エックス ゴルフ/ラルフ ローレン)、その他はスタイリスト私物

Urban GOLF STYLE Vol.12

冬のゴルフはフリースで暖かかつリラックス。

本格的な寒さが到来したら、防寒対策がスコアを左右する。主役アウターの中でも、最も重宝するのが保温性と動きやすさ、そしてリラックスムードを兼ね備えたフリースだ。どうせなら気分をホットにさせる秀逸なデザインを選びたい。

写真=正重智生 スタyling=Kim-Chang 文=長谷川茂雄 構成=大嶋慧子
photo: Tomoo Syoju (BOIL) styling: Kim-Chang
text: Shigeo Hasegawa composition: Keiko Oshima





3

**UNITED ARROWS×
TAYLORMADE APPAREL**

[ユナイテッドアローズ×テーラーメイド アパレル]



2

PGG
[ビージージー]



5

CALLAWAY

[キャロウェイ]



4

BRIEFING GOLF

[ブリーフィング ゴルフ]

5 **使い勝手のいいベストは
ペアで遊び心を効かせたい**

モノトーンスタイルに変化を加えるなら、パイピングとシルバーのファスナーがアクセントになったボアベストが理想的。レディースは、さらに遊びのあるハートモチーフのレオパード柄が揃う。ペアでコントラストが楽しめる。

男: フリースベスト1万5400円、スウェット1万7600円(以上キャロウェイ/キャロウェイゴルフ お客様ダイヤル)、その他はスタイリスト私物
女: ファーベスト1万8700円、ニット1万5400円、ボロシャツ1万3200円、ニット帽5720円(以上キャロウェイ/キャロウェイゴルフ お客様ダイヤル)

4 **プロからも支持される
可動域の広いシンプルボディ**

装飾を削ぎ落としたシンプルボディには、透湿性や保温性を備えた“ポーラテックヘビーボアフリース”を採用。アームホールや両脇は伸縮素材の切り替えで可動域が広く、スウィングがしやすい。袖のワッペンもさり気ない。

フリース5万6100円、モックネックシャツ2万3100円、バケットハット1万4190円(以上ブリーフィング ゴルフ/ブリーフィング 六本木ヒルズ店)、その他はスタイリスト私物

3 **コースで一際目を引く
洗練されたミリタリーテイスト**

MA-1をモチーフにしたボアジャケットは、背面にアイコン的なメタルTデザインをオン。ゆったりとした身幅でレイヤードがしやすく、ミニマルな首まわりは、モックネックとも好相性。ジップ周辺の切り替えもアクセントに。

フリース2万8600円、キルティングベスト2万6400円(以上ユナイテッドアローズ×テーラーメイドアパレル/テーラーメイド ゴルフ)、モックネックシャツ1万2100円、キャップ7150円、イヤーマフ3850円(以上テーラーメイドアパレル/テーラーメイド ゴルフ)

2 **パウダリーな肌触りと
安心感のある保温性を兼備**

起毛している側を表にした2層構造で保温性を高めていながら、着膨れ感のないすっきりとしたシルエットが持ち味。耐摩耗性がありつつ、パウダリーなタッチには高級感が宿る。レディースは重ね着に便利なベストタイプ。

男: フリース4万6200円、モックネックシャツ2万4200円、ニット帽1万1000円、女: フリースベスト4万700円、モックネックシャツ2万4200円、ニット帽1万1000円(以上PGG/バーリーゲイツ)



ESTIVANT



Web site



Instagram

estivant.jp

ACTIVE WELLNESS*

アクティブに過ごすことで、心もカラダもポジティブに。

〈トータル・ワークアウト〉で提唱している“アクティブ・ウェルネス”の実践者をゲストに迎え、代表の池澤智と語り合う本連載。今回は、トライアスロンやサーフィンに本気で取り組むリストグループの代表・北見尚之に、アクティブな生活の魅力を語ってもらった。

写真=穂刈麻衣 構成&文=遠藤 匠
photo: Mai Hokari (BOIL) composition&text: Takumi Endo

トータル・ワークアウト
代表 池澤 智

日本におけるパーソナルトレーナーの先駆けとなったケビン山崎にアメリカで師事し、その確実な結果と実績から多くの俳優やモデル、文化人のボディメイクを30年近く手掛けているカリスマパーソナルトレーナー。

運動を続けることで理想的なライフスタイルをつくっていますね。

カラダを動かすことで気持ちもプラスにもっていただけますね。

リストグループ
代表 北見尚之

25歳で不動産会社を起業。2016年にホールディングス経営に移行し、不動産に関する開発や建設、資産管理や証券化なども手掛ける総合不動産会社に。ハワイやシンガポールなど、グローバル進出も積極的に行う。

地

域とともに成長する不動産会社として創業した〈リスト〉を、戸建て・マンションの開発分譲事業、都市再開発事業に加え富裕層向けリゾート物件の開発なども手掛ける総合不動産会社に成長させた北見尚之。ホールディングス経営に移行後は、世界的な高級不動産仲介ブランド〈サザビーズ インターナショナル リアルティ〉の国内独占営業権を取得し、国内のみならず国外に5つのオフィスを構え仲介事業を行うなど世界進出も加速させている。国内外の出張も多い多忙な毎日を過ごしているが、トレーニングを欠かさない生活を楽しんでいるという。どんな思いでカラダと向き合っているのか。

池澤 智(以下池澤) 北見さんは今年3月の入会以来、コンスタントに通っていただいています。様々なスポーツを長く続けているんですね。

北見尚之(以下北見) トライアスロンははじめて10年経ちますが、小中高でサーフィンと野球、極真空手をやっていました。高校卒業後も空手とサーフィンは継続していて、40代からはサーフィンとマラソンが中心に。トライアスロンは、その流れではじめました。トライアスロンは大会に出てもフルマラソンほどダメージがなく、大会当日にサーフィンができるくらい体力が残っている。これは

カラダにいいなと思って続けています。

池澤 運動の頻度はどれくらいなんですか。

北見 週1回は皇居の周りを一周するようにして、それ以外に週1、2回は1.5kmくらい泳ぎます。そのうえでキックボクシングジムやゴルフに行き、週1回は〈トータル・ワークアウト〉でトレーニングをしているので、週6日間はとにかく運動をしていることになるかと思います。私の場合、カラダを常に動かしているほうが調子がよくて、動かさないと逆に調子が悪くなってしまうんです。カラダを動かすことで頭の中が空っぽになって、次のステップに進むことができる。そんな好循環あるのではないかと思います。

池澤 入会当初は半月板の手術を予定していたが、結果的に手術しなくてもよくなりましたね。現在はレッドコードのトレーニングをされていますね。

北見 カラダのコンディショニングをしてもらってからレッドコードを使ったトレーニングをしているのですが、そのおかげでカラダの調子がすごくいいんです。マッサージに行かなくなりました。

池澤 レッドコードという器具を使うことで重力をなくした環境を作れるのですが、その状態でトレーニングをするとインナーの筋肉をしっかり動

かせるメリットがあります。インナーを動かすことで、マッサージに行かないと解きほぐせなかった外側の凝り固まった筋肉を緩められるので、まさにその効果を実感されているようですね。

北見 ほかにスピード・トレーニングをやったりしては実感はしていますが、このトレーナーさんは非常に勉強熱心で、やる気も好奇心もあって進化しようとしている人が多いから面白いですね。私は中小企業の代表なので、私自身がアクティブで自分を高めていないと社員がついてこない。そういった意味でもこの環境は非常にいいなと思っています。来年60歳ですが、いつまでもサーフィンができるカラダでもいたいですね。

Check!



ファーストクラスの プロテインが個包装に!

摂取したタンパク質が体内で効率良く利用されることを追求した〈ホエイフレックスプロテインプレミアム〉が、持ち運びに便利な個包装になって新登場。アクティブな生活を楽しみたい人々をカラダの内側からサポートする。ボックス(27g×14包)7000円、個包装(27g)530円。



HERMÈS H08,
時間、それはエルメスのオブジェ

